

日本語研修コース

深見兼孝

修了者

第68期（2019年4月～2019年9月）[11名]

氏名	呼び名	国籍	専攻	大学研究科
AISYAH RAHMAWATI	アマ	インドネシア	医学・農学	広島大学統合生命科学研究科
LIM FUNG EE	リム	マレーシア	医学・農学	広島大学統合生命科学研究科
CHANTHAVONG SILIKONE	ヘイリー	ラオス	人文・芸術・社会科学	広島大学工学研究科
AL WAHAIBI MOHAMED KHALFAN	モハメド	オマーン	医学・農学	広島大学統合生命科学研究科
TETTEY PAMELA AFI	パメラ	ガーナ	工学・理学	広島大学統合生命科学研究科
NGOMBI MAVOUNGOU LARISSA	ラリサ	ガボン	工学・理学	広島大学理学研究科
AMINI NTHANDA CHIMWEMWE	タンダ	マラウイ	医学・農学	広島大学統合生命科学研究科
KIMBI SHARON BIH	シャロン	カメルーン	工学・理学	広島大学総合科学研究科
カン・イヨウ 韓 禕陽	カン	中国	日本語	広島大学森戸国際高等教育学院
フ・タクシン 傅 澤臣	フ	中国	日本語	広島大学森戸国際高等教育学院
ショウ・リュウキョ 蔣 龍挙	チャン	中国	日本語	広島大学森戸国際高等教育学院

第69期（2019年10月～2020年3月）[12名]

氏名	呼び名	国籍	専攻	大学研究科
GALINO JEFFREY RIVERA	ジェフリー	フィリピン	技術教育	広島大学教育学研究科
LOPEZ FLORDELIZA TAGUBA	フロー	フィリピン	物理教育	広島大学教育学研究科
WINT WINT THET	ウィン	ミャンマー	英語科教育	広島大学教育学研究科
APPIAH EDWARD	エドワード	ガーナ	社会科教育	広島大学教育学研究科

HERNANDEZ NAVARRO LUIS ENRIQUE	ルイス	メキシコ	機械工学	広島大学工学研究科
THAVORN RITTANUPAP	アンジェロ	タイ	機械工学	広島大学工学研究科
WONGCHADAKUL VELIKA	マイ	タイ	電気工学	広島大学工学研究科
LIKHITLUECHA KANYAKORN	キティ	タイ	電気工学	広島大学工学研究科
NGUYEN SON VAN	ソン	ベトナム	社会基盤環境工学	広島大学工学研究科
VIJAYABALAN HARISHRAJA	ハリシュ	インド	機械工学	広島大学工学研究科
HUDANDINI MEDITHA	メディタ	インドネシア	化学工学	広島大学工学研究科
リ・ロコウ 李 路昊	リ	中国	中国史	広島大学総合科学研究科

講師一覧

第 68 期 (2019 年 4 月～2019 年 9 月)

専任 名塩征史 サリー・チャン 深見兼孝

非常勤 尾形典子 佐藤道雄 杉本雅恵 中川正弘 渡辺久美

第 69 期 (2019 年 10 月～2020 年 3 月)

専任 フェレイロ・ポセ・ダマソ 名塩征史 深見兼孝

非常勤 尾形典子 佐藤道雄 杉本雅恵 中川正弘 渡辺久美

第 68 期 (2019 年 4 月～2019 年 9 月) 概要

4/4 (木) 11:00 - 12:00 オリエンテーション(K308)

13:30 - 14:00 開講式(K308)

授業期間 4/5 (金) ～ 9/5 (木)

休暇 8/12 (月) ～ 8/30 (金)

特別講義 9/2 (月) ～ 9/5 (木)

9/6 (金) スピーチ/修了式

試験 5/9 (木)、6/17 (月)、8/9 (金)

見学 4/26 (金) 広島市、5/31 (金) 宮島、7/26 (金) マツダ

第 69 期（2019 年 10 月～2020 年 3 月）概要

10/3(木) 11:00 - 12:00 オリエンテーション(K308)

10/4(金) 13:30 - 14:00 開講式（学生プラザ 4F 研修室）

授業期間 10/7(月) ～ 3/5(木)

休暇 12/26(木) ～ 1/3(金)、2/25(火) ～ 2/28(金)

特別講義 3/2 (月) ～ 3/5 (木)

3/6(金)スピーチ／修了式

試験 11/1(金)、12/13(金)、2/21(金)

見学 10/25 (金) 広島市、11/22 (金) 宮島、1/31 (金) マツダ

日本語教育部門：日本語・日本事情
(2019年4月～2020年3月)

田村泰男

1. 授業科目一覧
・東広島キャンパス

授 業 科 目	開 設 単位数	学期別週授業時数		受講登録者数	
		前 期	後 期	前 期	後 期
日本語入門A-1	1・1	2	2	24	45
日本語入門A-2	1・1	2	2	24	40
日本語入門B-1	1・1	2	2	11	32
日本語入門B-2	1・1	2	2	10	29
日本語初級A-1	1・1	2	2	25	24
日本語初級A-2	1・1	2	2	23	22
日本語初級B-1	1・1	2	2	21	20
日本語初級B-2	1・1	2	2	22	21
日本語中級A-1	1	2		25	
日本語中級A-2	1	2		23	
日本語中級B-1	1	2		18	
日本語中級B-2	1	2		15	
日本語中級C-1	1		2		43
日本語中級C-2	1		2		45
日本語中級D-1	1		2		33
日本語中級D-2	1		2		32
日本語中上級A-1	1	2		25	
日本語中上級A-2	1	2		25	
日本語中上級B-1	1	2		13	
日本語中上級B-2	1	2		13	
日本語中上級C-1	1		2		25

日本語中上級C-2	1		2		28
日本語中上級D-1	1		2		18
日本語中上級D-2	1		2		17
日本語上級聴解A	1	2		13	
日本語上級聴解B	1		2		26
日本語上級分析A	1	2		15	
日本語上級分析B	1		2		25
論文作成法A	1	2		15	
論文作成法B	1		2		21
日本語上級語彙A	1	2		18	
日本語上級語彙B	1		2		20
日本語上級映像A	1	2		17	
日本語上級映像B	1		2		18
ビジネス日本語A				10	
ビジネス日本語B	1		2		20
日本語・日本文化特別研究A-1	2		4		6
日本語・日本文化特別研究A-2	2		4		6
日本語・日本文化特別研究B-1	2	4		5	
日本語・日本文化特別研究B-2	2	4		5	

・霞キャンパス

授 業 科 目	開 設 単位数	学期別週授業時数		受講登録者数	
		前 期	後 期	前 期	後 期
日本語入門1	1・1	2	2	4	7
日本語入門2	1・1	2	2	2	13
日本語初級1	1・1	2	2	3	5
日本語初級2	1・1	2	2	3	7

2. 授業内容

(東広島キャンパス)

・レベル1

授業科目	日本語入門A-1
担当教員	サリ・チャン・上村貴世子・山中康子
目 標	かなと基本文法を習得させる。
内 容	第1回ひらがなの導入、基本の挨拶 第2回名詞文 第3回カタカナの導入 第4回否定文と質問文 第5回指示詞(1) 第6回指示詞(2)と場所の聞き方 第7回時間を聞く、動詞の導入 第8回動詞の過去形・否定形 第9回中間試験、移動動詞 第10回他動詞、助詞「で」 第11回授受表現 第12回形容詞(1) 第13回形容詞(2)と頻度 第14回「好き」・「嫌い」の表現 第15回復習 第16回期末試験
テキスト	『みんなの日本語初級I 本冊』(スリーエーネットワーク)
成績評価	試験50% 宿題20% プロジェクト20% オンライン参加10%

授業科目	日本語入門A-2
担当教員	サリ・チャン・上村貴世子・山中康子
目 標	日本語の基本文法を習得させる。
内 容	第1回助数詞 第2回 形容詞と名詞の過去形・否定形 第3回比較文(1) 第4回 比較文(2) 第5回希望を表す 第6回 移動の目的 第7回動詞とテ形 第8回 テ形を使う文法項目 第9回中間試験、動詞の否定形 第10回動詞の否定形を使った文法項目 第11回動詞の辞書形、趣味 第12回動詞辞書形と過去形 第13回辞書形の会話 第14回修飾句、「～と思います」 第15回「～たら」、まとめ、復習 第16回期末試験
テキスト	『みんなの日本語初級I 本冊』(スリーエーネットワーク)
成績評価	試験50% 宿題20% プロジェクト20% オンライン参加10%

授業科目	日本語入門B-1
担当教員	サリ・チャン・佐藤道雄・尾形典子
目 標	基本的な日本語会話を身に付けさせ、語彙と漢字の知識を増やす。
内 容	<p>第1回発音の基本、自己紹介（1） 第2回ひらがな 第3回自己紹介（2）、相槌 第4回カタカナ・今週の語彙 第5回自己紹介（3）、基本会話の発展 第6回漢字について・今週の語彙 第7回先生の研究室を訪問、時間と場所を聞く 第8回今週の語彙・漢字 第9回「これ／それ／あれはなんですか」・日本語が分からない時の対応 第10回今週の語彙・漢字 第11回日常ルーティン 第12回今週の語彙・漢字 第13回会話テスト 第14回今週の語彙・漢字 第15回好きなものや嫌いなもの 第16回まとめ</p>
テキスト	『みんなの日本語初級I 本冊』（スリーエーネットワーク）
成績評価	会話テスト35% 音読15% オンライン参加10% 週テスト40%

授業科目	日本語入門B-2
担当教員	サリ・チャン・佐藤道雄・尾形典子
目 標	基本的な日本語会話を身に付けさせ、語彙と漢字の知識を増やす。
内 容	<p>第1回お誘い・レストランで 第2回ひらがな・カタカナ 第3回家族 第4回今週の語彙・漢字 第5回誕生日 第6回今週の語彙・漢字 第7回パーティーの写真 第8回今週の語彙・漢字 第9回日本人の家に訪れる 第10回今週の語彙・漢字 第11回会話テスト 第12回今週の語彙・漢字 第13回友だちとの会話1 第14回今週の語彙・漢字 第15回友だちとの会話2 第16回今週の語彙・漢字</p>
テキスト	『みんなの日本語初級I 本冊』（スリーエーネットワーク）
成績評価	会話テスト35% 音読15% オンライン参加10% 週テスト40%

・レベル2

授業科目	日本語初級A-1
担当教員	名塩征史
目 標	初級後半レベルの基礎的な文法・表現を学習し、いろいろな場面に 応じた実用的な日本語表現について理解を深める。
内 容	第1回動詞・形容詞の活用形、復習 第2回 説明表現① 第3回説明表現② 第4回可能表現 第5回継続・習慣の表現 第6回自他動詞 第7回完了表現 第8回準備状況を説明する表現 第9回意思・予定の表現 第10回助言の表現 第11回推量表現 第12回付帯状況の表現① 第13回付帯状況の表現② 第14回総復習① 第15回総復習② 第16回試験
テキスト	『みんなの日本語初級Ⅱ 本冊』（スリーエーネットワーク）
成績評価	発表・討論への参加15% 試験50% 宿題35%

授業科目	日本語初級A-2
担当教員	名塩征史
目 標	初級後半レベルの基礎的な文法・表現を学習し、いろいろな場面に 応じた実用的な日本語表現について理解を深める。
内 容	第1回条件表現① 第2回条件表現② 第3回習慣の変化を表す表現 第4回受け身表現① 第5回受け身表現② 第6回名詞節を含む文① 第7回名詞節を含む文② 第8回原因・理由の表現① 第9回原因・理由の表現② 第10回疑問文が埋め込まれた文 第11回授受表現 第12回目的・用途を表す表現① 第13回目的・用途を表す表現② 第14回予期・予感を表す表現 第15回総復習 第16回試験
テキスト	『みんなの日本語初級Ⅱ 本冊』（スリーエーネットワーク）
成績評価	発表・討論への参加15% 試験50% 宿題35%

授業科目	日本語初級B-1
担当教員	下村真理子・上村貴世子
目 標	以下に挙げる初級後半レベルの表現を「聞く」「話す」活動を通して学び直し、日本語の運用能力を養う。また、関連する語彙を表記とともに再確認し、実践的な知識としての定着を目指す。
内 容	第1回復習：初級前半の語彙・表現 第2回説明表現① 第3回説明表現② 第4回可能表現 第5回継続・習慣の表現 第6回自他動詞 第7回完了表現 第8回準備状況を説明する表現 第9回意思・予定の表現 第10回助言の表現 第11回推量表現 第12回付帯状況の表現① 第13回付帯状況の表現② 第14回総復習① 第15回総復習② 第16回試験
テキスト	『みんなの日本語初級Ⅱ 本冊』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 漢字練習帳』（スリーエーネットワーク）
成績評価	発表・討論への参加15% 試験50% 宿題15% クイズ20%

授業科目	日本語初級B-2
担当教員	下村真理子・上村貴世子
目 標	以下に挙げる初級後半レベルの表現を「聞く」「話す」活動を通して学び直し、日本語の運用能力を養う。また、関連する語彙を表記とともに再確認し、実践的な知識としての定着を目指す。
内 容	第1回条件表現① 第2回条件表現② 第3回習慣の変化を表す表現 第4回受け身表現① 第5回受け身表現② 第6回名詞節を含む文① 第7回名詞節を含む文② 第8回原因・理由の表現① 第9回原因・理由の表現② 第10回疑問文が埋め込まれた文 第11回授受表現 第12回目的・用途を表す表現① 第13回目的・用途を表す表現② 第14回予期・予感を表す表現 第15回総復習 第16回試験
テキスト	『みんなの日本語初級Ⅱ 本冊』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 漢字練習帳』（スリーエーネットワーク）
成績評価	発表・討論への参加15% 試験50% 宿題15% クイズ20%

・ レベル3

授業科目	日本語中級A-1
担当教員	川崎千枝見
目 標	中級前半レベルの文を読み、内容を理解する力をつける。初級で学習した表現と各課で学習した内容を使い、各課のテーマに沿って、まとまりのある文章を書いたり、意見を述べたりできるようになる。
内 容	<p>第1回オリエンテーション、読解「ファストフード」(本文・ことば)</p> <p>第2回「N1といえばN2だ」、「も」、「Nは～こと、～ことだ」</p> <p>第3回「V始める/V終わる」、作文</p> <p>第4回 読解「地震」(本文・ことば)、「～のでしょうか」、「自動詞・他動詞」の整理</p> <p>第5回「V(よ)うとしても、Vない」、「～のは～だ」、「自動詞-ている・他動詞-てある/ておく」の整理、作文</p> <p>第6回読解「最近の子ども」(本文・ことば)、「[普通形]ようなN」、「Nばかり・Vてばかりいる」、「Nを欲しがる/Vたがる/Vたがらない」</p> <p>第7回「ついVてしまう」、「～(の)は～からだ」、「Nのようだ/Nのように/N1のようなN2」、作文</p> <p>第8回中間試験</p> <p>第9回中間試験のフィードバック、読解「日本のイメージ」(本文・ことば)</p> <p>第10回「Vていく/Vてきた」、「[表/グラフ]で見ると、～ことがわかる」、「N1のようなN2」、「XはYほど～ない」</p> <p>第11回「比較」の整理、作文</p> <p>第12回読解「睡眠」(本文・ことば)、「A/Naさ」</p> <p>第13回連用中止、「～ものだ」、「もの・こと」の整理、「～ということだ」</p> <p>第14回長い文の練習、作文</p> <p>第15回復習</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	『中級へ行こうー日本語の文型と表現 5 5 第2版』(スリーエネットワーク)
成績評価	授業への参加度10% 課題(授業中・宿題)20% 試験70%

授業科目	日本語中級A-2
担当教員	川崎千枝見
目 標	中級前半レベルの文を読み、内容を理解する力をつける。初級で学習した表現と各課で学習した内容を使い、各課のテーマに沿って、まとまりのある文章を書いたり、意見を述べたりできるようになる。
内 容	<p>第1回オリエンテーション、読解「日本人の発明」(本文・ことば)、 「Nによって[受身]」、「～ため(に)」</p> <p>第2回「～ため(に)」の整理、「～まま」、作文</p> <p>第3回読解「リサイクルとフリーマーケット」(本文・ことば)、「Vたものだ」</p> <p>第4回「～として」、「～といっても」、「V1よりV2のほうが」、「～なら」</p> <p>第5回「なら・と・ば・たら」の整理、「Vて欲しい/Vないで欲しい」、作文</p> <p>第6回読解「あいづち」(本文・ことば)、「～あいだ・～あいだに」、「～わけではない」「Vる/Vないことがある」</p> <p>第7回「V1までv2」、「Nによって」、「Nとして/Nについて/Nによって」の整理、作文</p> <p>第8回中間試験</p> <p>第9回中間試験のフィードバック、読解「男の仕事・女の仕事」(本文・ことば)</p> <p>第10回「～にもなって」、「接続詞[つまり・一方]」、「Na/Nである」、使役受身</p> <p>第11回「受身・使役・使役受身」の整理、「Vて欲しいものだ」、作文</p> <p>第12回読解「ことばの使い方」(本文・ことば)、「Nによって」</p> <p>第13回「Vる/Nの代わりに」、「Vてくる/Vていく」、「Vるべきだ」、「敬語」の整理</p> <p>第14回「Vずに」、作文 第15回復習</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	『中級へ行こう－日本語の文型と表現 5 5 第2版』(スリーエーネットワーク)
成績評価	授業への参加度10% 課題(授業中・宿題)20% 試験70%

授業科目	日本語中級B-1
担当教員	坂田光美・山中康子
目 標	<p>1) 連語の学習によって、ことばのつながり、慣用表現など、中級程度の多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。</p> <p>2) 音声教材を用いて、一定の長さの説明文や解説文の聞き取り能力を養うとともに、総合的な日本語能力を高める。</p>
内 容	<p>本授業は、聴解クラス(8回)と語彙クラス(8回)の計16回から構成され、それぞれを関連付けながら、授業を進行する。</p> <p>【語彙】</p> <p>第1回オリエンテーション、お金に関することば 第2回学習(1) 大学生活に関することば 第3回学習(2) 研究・発表に関することば 第4回日常生活(1) 1日の行動に関することば 第5回日常生活(2) トラブルに関することばなど 第6回交通機関に関することば 第7回付き合いに関することば 第8回試験</p> <p>【聴解】</p> <p>第1回オリエンテーション/ことばの意味、由来を聞き取る 第2回クイズの内容と答えを聞き取る/心理や行動パターンを聞き取る 第3回情報を整理しながら聞き取る/エピソードの要点を聞き取る 第4回問題の対処方法を聞き取る/昔話のあらすじを聞き取る 第5回物の仕組みを聞き取る/プロフィールから人物像を聞き取る 第6回グラフを参照しながら説明を聞き取る/物の特徴や用途を聞き取る 第7回方法・数値の意味を聞き取る/1～7回の復習 第8回試験</p>
テキスト	<p>『ペアで覚えるいろいろなことば 初・中級学習者のための連語の整理』(武蔵野書院)</p> <p>『新毎日の聞き取り50日 下』(凡人社)</p>
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題10%

授業科目	日本語中級B-2
担当教員	坂田光美・山中康子
目 標	<p>1) 連語の学習によって、ことばのつながり、慣用表現など、中級程度の多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。</p> <p>2) 音声教材を用いて、一定の長さの説明文や解説文の聞き取り能力を養うとともに、総合的な日本語能力を高める。</p>
内 容	<p>本授業は、聴解クラス(8回)と語彙クラス(8回)の計16回から構成され、それぞれを関連付けながら、授業を進行する。</p> <p>【語彙】</p> <p>第1回オリエンテーション 付き合いに関することば 第2回手続き(旅行)に関することば 第3回自然に関することば 第4回健康に関することば 第5回余暇に関することば 第6回機械操作に関することば 第7回運転に関することば 第8回試験</p> <p>【聴解】</p> <p>第1回物の仕組みを聞き取る/物の特徴とエピソードを聞き取る 第2回プロフィールから人物像を聞き取る/出来事の順序を聞き取る 第3回物の変化とその理由を聞き取る/活動の目的やメリットを聞き取る</p> <p>第4回物の特徴について聞き取る/図を参照しながら仕組みを聞き取る 第5回区別・分類を聞き取る/図を参照しながら数値を聞き取る 第6回問題提起と解決までの流れを聞き取る 第7回プロジェクトの目的と内容を聞き取る/1～7回の復習 第8回試験</p>
テキスト	<p>『ペアで覚えるいろいろなことば 初・中級学習者のための連語の整理』(武蔵野書院)</p> <p>『新毎日の聞き取り50日 下』(凡人社)</p>
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題10%

授業科目	日本語中級C-1
担当教員	川崎千枝見
目 標	長い文を読み、内容を理解する力をつける。各課で学習した内容を使うこと、そして、各課のテーマに沿って、まとまりのある文章を書いたり、意見を述べたりすることができるようになる。
内 容	<p>第1回オリエンテーション、読解「音楽と音の効果」(本文・ことば)、カタカナ語、「～だろう」</p> <p>第2回「～のだろうか」、「～わけがない」、「わけがない」と「わけではない」の整理、「～の～(＝～が～)」、「Vること/Nこそ」</p> <p>第3回動詞の省略、「より～」、作文</p> <p>第4回読解「いい数字・悪い数字」(本文・ことば)、「～というN」、「Vること/Nほど～はない」</p> <p>第5回比較の表現の整理、「～ぐらい/くらい」、「Nからすると」、「. [疑問語疑問文] より、～」</p> <p>第6回「数字」について読む、作文</p> <p>第7回中間試験</p> <p>第8回中間試験のフィードバック</p> <p>第9回読解「「おもしろい」日本」(本文・ことば)、「Vて/N」以来)、「何～も」</p> <p>第10回文章の中の「こ・そ」、「～はN1はN2であって、N3ではないということだ」、「Vまでもない/Vまでもなく～」、「Nであろうと、～」</p> <p>第11回移動「Vている」、作文</p> <p>第12回読解「くしゃみ」(本文・ことば)、複合動詞「Vだす/V込む」、助詞+「の」</p> <p>第13回「V/Nの」途中～、「なぜか」、「Vたとたん」、「Vたところ」「Vたばかり」「Vたとたん」の整理</p> <p>第14回「～ことに～」、作文</p> <p>第15回復習</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 第2版』(スリーエーネットワーク)
成績評価	授業への参加度10% 課題(授業中・宿題)20% 試験70%

授業科目	日本語中級C-2
担当教員	川崎千枝見
目 標	長い文を読み、内容を理解する力をつける。各課で学習した内容を使うこと、そして、各課のテーマに沿って、まとまりのある文章を書いたり、意見を述べたりすることができるようになる。
内 容	<p>第1回オリエンテーション、読解「わたしの町」(本文・ことば)、「Vつつある」</p> <p>第2回「～を中心に、3.Vたところに/Vたところで」、意志動詞と無意志動詞の整理、「Nらしい/Nらしさ/Nらしく」</p> <p>第3回「～げ」、作文</p> <p>第4回読解「この日に食べなきゃ、意味がない！」(本文・ことば)、話しことば、「Nにとって」</p> <p>第5回「～ずに(は)いられない」、「～らしい」、「～としたら」、名詞修飾節</p> <p>第6回グラフを読む、作文</p> <p>第7回中間試験</p> <p>第8回中間試験のフィードバック</p> <p>第9回読解「お相撲さんの世界」(本文・ことば)、「Nだらけ」、「Vないと、Vないからだ」</p> <p>第10回「～たびに」、「～に加えて」、「は」と「が」の整理、「～ように～」</p> <p>第11回接続詞・副詞の整理、作文</p> <p>第12回読解「第一印象」(本文・ことば)、「～にすぎない」、「～さえ～ば」</p> <p>第13回「さえ」「しか」「こそ」の整理、「～というものではない／～というものでもない」、</p> <p>第14回「Vかねない」、「～ものの」、作文</p> <p>第15回復習</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 第2版』(スリーエーネットワーク)
成績評価	授業への参加度10% 課題(授業中・宿題)20% 試験70%

授業科目	日本語中級D-1
担当教員	坂田光美・山中康子
目 標	<p>1)身近な生活場面や日本文化・習慣などテーマに沿って、中級程度の多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。</p> <p>2)音声教材を用いて、一定の長さの説明文や解説文の聞き取り能力を養うとともに、総合的な日本語能力を高める。</p>
内 容	<p>本授業は、聴解クラス(8回)と語彙クラス(8回)の計16回から構成され、それぞれを関連付けながら、授業を進行する。</p> <p>【語彙】</p> <p>第1回 オリエンテーション 「料理」に関することば 第2回 「病気・症状」に関することば(1) 基礎 第3回 「病気・症状」に関することば(2) 応用 第4回 「性格」に関することば(1) 基礎 第5回 「性格」に関することば(2) 応用 第6回 「住居」に関することば(1) 基礎 第7回 「住居」に関することば(2) 応用 第8回 試験</p> <p>【聴解】</p> <p>第1回 オリエンテーション/ことばの意味、由来を聞き取る 第2回 図を参照しながら説明を聞き取る/物の特徴や用途を聞き取る 第3回 エピソードの要点を聞き取る/物の仕組みを聞き取る 第4回 グラフを参照しながら変化を聞き取る/調査の結果と考え方を聞き取る 第5回 ことばの意味・分類を聞き取る/会話から情報を聞き取る 第6回 物の順序を聞き取る/情報を整理しながら聞き取る 第7回 会話から情報を聞き取る/1～7回の復習 第8回 試験</p>
テキスト	<p>『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング』 (アスク出版)</p> <p>『新毎日の聞き取り50日 上』(凡人社)</p>
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題10%

授業科目	日本語中級D-2
担当教員	坂田光美・山中康子
目 標	<p>1)身近な生活場面や日本文化・習慣などテーマに沿って、中級程度の多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。</p> <p>2)音声教材を用いて、一定の長さの説明文や解説文の聞き取り能力を養うとともに、総合的な日本語能力を高める。</p>
内 容	<p>本授業は、聴解クラス(8回)と語彙クラス(8回)の計16回から構成され、それぞれを関連付けながら、授業を進行する。</p> <p>【語彙】</p> <p>第1回オリエンテーション 「結婚」に関することば</p> <p>第2回「季節」に関する表現(1) 基礎</p> <p>第3回「季節」に関する表現(2) 応用</p> <p>第4回慣用句・ことわざ(1) 基礎</p> <p>第5回慣用句・ことわざ(2) 応用</p> <p>第6回名所紹介(1) 基礎</p> <p>第7回名所紹介(2) 応用</p> <p>第8回試験</p> <p>【聴解】</p> <p>第1回心理や行動の理由を聞き取る/手順・効果を聞き取る</p> <p>第2回情報を整理しながら聞き取る/物の由来としくみを聞き取る</p> <p>第3回事象の根拠を聞き取る/情報を整理しながら聞き取る</p> <p>第4回物の特徴を聞き取る/数値の表す意味を聞き取る</p> <p>第5回情報を整理しながら聞き取る/物語の要点を聞き取る</p> <p>第6回数値を聞き取る/調査の結果と理由を聞き取る</p> <p>第7回エピソードの要点を聞き取る/1～7回の復習</p> <p>第8回試験</p>
テキスト	<p>『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング』 (アスク出版)</p> <p>『新毎日の聞き取り50日 上』(凡人社)</p>
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題10%

・ レベル 4

授業科目	日本語中上級A-1
担当教員	杉本雅恵
目 標	中級レベルの文法・語彙・表現の定着を図るとともに長文読解能力を養成する。
内 容	<p>第1回オリエンテーション、学習項目「～という」「～に基づく～」「～と同時に」「～による」「～際に」</p> <p>第2回医療に関する語彙、読解「病院の色」</p> <p>第3回色彩語彙を使った慣用表現、「色」についての関連読み物</p> <p>第4回学習項目「～とする」「～にかけて」「～さえ」「～なんて」「～ことで」「～ように思う」</p> <p>第5回笑いに関する語彙、読解「エイプリル・フール」</p> <p>第6回「うそ」に関することわざ、「うそ」についての関連読み物</p> <p>第7回復習</p> <p>第8回中間試験</p> <p>第9回学習項目「～を問わず」「～をめぐって」「～ところ」「～ことなく」「～向き」「～において」「～上」</p> <p>第10回アンケート調査に使用する語彙、読解「学校の制服」、服飾に関する表現、「制服」についての関連読み物</p> <p>第11回学習項目「に至る」「～うえで」「～なり」「VたN」「～という点」「～にかかわる」</p> <p>第12回計算に関する表現、読解「計算の方法を説明する」、図形に関する語彙、「活用力」についての関連読み物</p> <p>第13回学習項目「～をもたらす」「～に対して」「～にとって」「～ばかりでなく」「～を通して」「接続詞」</p> <p>第14回運動に関する語彙、読解「子供の遊び」、身体部位に関する語彙、体に関する表現、「ラジオ体操」についての関連読み物</p> <p>第15回復習</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	「中級を学ぼう 日本語の文型と表現 8 2」（スリーエーネットワーク）
成績評価	小テスト20%・宿題20%・試験60%（中間試験30%期末試験30%）

授業科目	日本語中上級A-2
担当教員	上村貴世子
目 標	中級レベルの文法・語彙・表現の定着を図るとともに長文読解能力を養成する。
内 容	<p>第1回オリエンテーション・学習項目「～ぶり」「～とはいえ」「～当たり」「たとえ～」「～やら～やら」「～と」</p> <p>第2回銀行に関する語彙・読解「古くなったお札の行方」・お金に関する表現・「お金」についての関連読み物</p> <p>第3回学習項目「～に関する」「～ない限り」「～がち」「～っぱなし」「～以上に」「～抜きに」「～おかげで」</p> <p>第4回環境に関する語彙・読解「水への関心」・無駄遣いに関する表現・「水」についての関連読み物</p> <p>第5回学習項目「～にもかかわらず」「～につれて」「～に例える」「～に違いない」「～得ない／～得る」</p> <p>第6回遺伝に関する語彙・読解「遺伝」・世界の地理の表現・「遺伝」についての関連読み物</p> <p>第7回復習</p> <p>第8回中間試験</p> <p>第9回学習項目「～っぽい」「～とって（も）いい」「～にしても」「～つつ～」「副詞」「～めく」</p> <p>第10回話し言葉と書き言葉に関する表現・読解「漫画・アニメ・本」</p> <p>第11回擬態語に関する表現・「漫画」についての関連読み物</p> <p>第12回学習項目「～かのように」「～結果」「～までになる」「～に比べて」「もの」「～のに対して」</p> <p>第13回動物の生態に関する語彙・読解「ヒトと動物」</p> <p>第14回動物のことわざ・「チンパンジー」についての関連読み物</p> <p>第15回復習</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	「中級を学ぼう 日本語の文型と表現 8 2」（スリーエーネットワーク）
成績評価	小テスト20％・宿題20％・試験60％(中間試験30％期末試験30％)

授業科目	日本語中上級B-1
担当教員	柳本大地・坂田光美
目 標	<p>1) コロケーションの学習によって、ことばのつながり、慣用句など、多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。</p> <p>2) 身近なトピックにより、日本に対する理解を深めるとともに、多様な場面や状況を理解し、語彙を増やす。聞き取りだけでなく、多様な活動を通して、日本語の運用能力を伸ばす。</p>
内 容	<p>本授業は、聴解クラス(8回)と語彙クラス(8回)の計16回から構成され、それぞれを関連付けながら、授業を進行する。</p> <p>【聴解】</p> <p>第1回オリエンテーション/問題提起から解決案の提示までの流れを聞き取る</p> <p>第2回誘導・指示を聞き取る/出来事の順序を聞き取る</p> <p>第3回グラフを参照しながら数値を聞き取る</p> <p>第4回図に示された情報を参照しながら聞き取る</p> <p>第5回心理や行動の変化を聞き取る/グラフを参照しながら数値を聞き取る②</p> <p>第6回プロフィールから人物像を聞き取る</p> <p>第7回論理・因果関係を聞き取る / 物事の由来を聞き取る</p> <p>第8回テスト</p> <p>【語彙】</p> <p>第1回オリエンテーション 体の言葉(1) 「頭」を含む慣用表現を学ぶ 「頭が堅い/下がる」 など</p> <p>第2回体の言葉(2) 「耳」を含む慣用表現を学ぶ 「耳に入れる」「耳が痛い」 など</p> <p>第3回動詞(1) 「聞」「効」「利」を含む慣用表現を学ぶ 「口を利」「薬が効く」 など</p> <p>第4回動詞(2) 「知」を含む慣用表現を学ぶ 「思い知る」「知らず知らず」 など</p> <p>第5回動詞(3) 「分」を含む慣用表現を学ぶ 「わけの分からない」「分け隔てなく」 など</p> <p>第6回形容詞(1) 「良」を含む慣用表現を学ぶ 「いい顔をする」「いい気になる」 など</p> <p>第7回形容詞(2) 「厳」を含む慣用表現を学ぶ 「厳しい態度」「厳しい冬」 など</p> <p>第8回テスト</p>
テキスト	<p>『毎日の聞き取りplus40 下』(凡人社)</p> <p>『コロケーションで増やす表現—ほんきの日本語—vol. 1』(くろしお出版)</p>
成績評価	発表・討論への参加15% 試験70% 宿題15%

授業科目	日本語中上級B-2
担当教員	柳本大地・坂田光美
目 標	<p>1) コロケーションの学習によって、ことばのつながり、慣用句など、多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。</p> <p>2) 身近なトピックにより、日本に対する理解を深めるとともに、多様な場面や状況を理解し、語彙を増やす。聞き取りだけでなく、多様な活動を通して、日本語の運用能力を伸ばす。</p>
内 容	<p>本授業は、聴解クラス(8回)と語彙クラス(8回)の計16回から構成され、それぞれを関連付けながら、授業を進行する。</p> <p>【聴解】</p> <p>第1回オリエンテーション / 区別・分類を聞き取る 第2回問題提起から解決までの流れを聞き取る / 主張の要点を聞き取る 第3回出来事とその背景の関係を聞き取る 第4回活動の目的や内容を聞き取る / 事情の説明を聞き取る 第5回物語から教訓を聞き取る 第6回因果関係を聞き取る / 求められる条件を聞き取る 第7回仕組みを聞き取る 第8回テスト</p> <p>【語彙】</p> <p>第1回オリエンテーション 体の言葉(1) 「顔」を含む慣用表現を学ぶ 「顔を立てる」「顔が広い」 など 第2回体の言葉(2) 「腰」を含む慣用表現を学ぶ 「腰を上げる」 「腰を据える」 など 第3回動詞(1) 「済」「澄」を含む慣用表現を学ぶ 「澄み渡る」 「気が済む」 など 第4回動詞(2) 「乗」「載」を含む慣用表現を学ぶ 「相談に乗る」「新聞に載る」 など 第5回動詞(3) 「入」を含む慣用表現を学ぶ 「力を入れる」「手を入れる」 など 第6回形容詞(1) 「激」を含む慣用表現を学ぶ 「人見知りが激しい」「頭が下がる」 など 第7回形容詞(2) 「悪」を含む慣用表現を学ぶ 「縁起が悪い」「趣味が悪い」 など 第8回テスト</p>
テキスト	『毎日の聞き取りplus40 下』(凡人社) 『コロケーションで増やす表現—ほんきの日本語—vol. 1』(くろしお出版)
成績評価	発表・討論への参加15% 試験70% 宿題15%

授業科目	日本語中上級C-1
担当教員	杉本雅恵
目 標	中級レベルの文法・語彙・表現の定着を図るとともに長文読解能力を養成する。
内 容	<p>第1回オリエンテーション・文型「～ようになる」「～がる」「～てはいけない」「～ずにいる」</p> <p>第2回学びに関する語彙・読解「なぞなぞ」</p> <p>第3回文型「～と、～た」「～ことにする」「～ことにしている」「～ながら」・読解「花の名前」</p> <p>第4回文型「～うちに」「～うちは」「～(さ)せてあげる／やる」「～としか～ない」・読解「ごちそう」</p> <p>第5回文型「～ほど～はない」「～ほど」「～てほしい」「～とは思えない」・読解「猫に小判」</p> <p>第6回文型「～たばかり」「～て／でたまらない」「～(よ)うともしない」「～なんて」・読解「満員電車」</p> <p>第7回文型「～とか～とか」「～といっても」「～ものだ」「～ものではない」「～たつもり」・読解「思いやり」</p> <p>第8回中間試験</p> <p>第9回文型「～まで」「～によって」「せっかく」「～ことだ」</p> <p>第10回外見に関する語彙・読解「名刺」</p> <p>第11回文型「～よう」「～にとって」「～たものだ」「～たところ」「～される」</p> <p>第12回思い込みに関する語彙・読解「男の色・女の色」</p> <p>第13回文型「～はずだ」「～はずがない」「～として」「～ば～ほど」</p> <p>第14回個人情報に関する語彙・読解「見えない相手」</p> <p>第15回文型「～(よ)うと」「～につれて」「～どころか、かえって～」「～わけだ／ではない」・読解「腕時計」</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」(研究社)
成績評価	小テスト20%・宿題20%・試験60%(中間試験30%期末試験30%)

授業科目	日本語中上級C-2
担当教員	杉本雅恵
目 標	中級レベルの文法・語彙・表現の定着を図るとともに長文読解能力を養成する。
内 容	<p>第1回オリエンテーション・文型「～ざるを得ない」「～さえ」「～にしる～にしる」「～た上で」</p> <p>第2回人間関係に関する語彙・読解「タテとヨコ」</p> <p>第3回文型「～通り」「というのも」「～とする／される」「～によって」・読解「A B O AB」</p> <p>第4回文型「～まま」「～べき」「～のことだから」「きっかけで／に」・読解「昼のにおい」</p> <p>第5回文型「～上で」「～次第」「～とともに」「～にもかかわらず」・読解「てるてるぼうず」</p> <p>第6回文型「～をはじめ」「さすが」「～わけがない」「～だけに」・読解「旅行かばん」</p> <p>第7回文型「～ものだから」「～ところだ」「～なり」「～に違いない」・読解「歌の力」</p> <p>第8回中間試験</p> <p>第9回文型「～たきり」「～ようでは」「その一方(で)」「～わけにはいかない」</p> <p>第10回医療に関する語彙・読解「命」</p> <p>第11回文型「～たばかりに」「～て／でならない」「～としても」「～ないことには」</p> <p>第12回故郷に関する語彙・読解「ふるさと」</p> <p>第13回文型「～はともかく(として)」「～さえ～ば」「～ことから」「～ないものか」</p> <p>第14回将来の夢に関する語彙・読解「ふたつの夢」</p> <p>第15回文型「～割に(は)」「～にあたり」「～に限らず」「～にかけては」・読解「ものづくり」</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	「テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版」(研究社)
成績評価	小テスト20%・宿題20%・試験60%(中間試験30%期末試験30%)

授業科目	日本語中上級D-1
担当教員	柳本大地・坂田光美
目 標	<p>1) コロケーションの学習によって、ことばのつながり、慣用句など、多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。</p> <p>2) 身近なトピックにより、日本に対する理解を深めるとともに、多様な場面や状況を理解し、語彙を増やす。聞き取りだけでなく、多様な活動を通して、日本語の運用能力を伸ばす。</p>
内 容	<p>本授業は、聴解クラス(8回)と語彙クラス(8回)の計16回から構成され、それぞれを関連付けながら、授業を進行する。</p> <p>【聴解】 第1回オリエンテーション / 話の構成を聞き取る 第2回話し手の主張を聞き取る 第3回導入部分に注目して聞き取る 第4回「まとめる言葉」を聞き取る 第5回キーワードを聞き取る 第6回定義を聞き取る 第7回情報を選択して聞き取る 第8回総復習、試験</p> <p>【語彙】 第1回オリエンテーション 体の言葉(1) 「腹」を含む慣用表現を学ぶ 「腹が空く」「太っ腹」 など 第2回体の言葉(2) 「身」を含む慣用表現を学ぶ 「身が軽い」「身を入れる」 など 第3回動詞(1) 「書」「描」「搔」を含む慣用表現を学ぶ 「汗をかく」「あぐらをかく」 など 第4回動詞(2) 「返」を含む慣用表現を学ぶ 「あいさつを返す」「読み返す」 など 第5回動詞(3) 「切」「斬」を含む慣用表現を学ぶ 「自腹を切る」「手を切る」 など 第6回形容詞(1) 「熱」「暑」を含む慣用表現を学ぶ 「熱い応援」「蒸し暑い」 など 第7回形容詞(2) 「重」を含む慣用表現を学ぶ 「重い口調」「重い罰金」 など 第8回テスト</p>
テキスト	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 中上級』(スリーエーネットワーク) 『コロケーションで増やす表現—ほんきの日本語—vol. 1』(くろしお出版)
成績評価	【聴解】 発表・討論への参加20% 試験30% 宿題30% 要旨の提出20% 【語彙】 発表・討論への参加15% 試験70% 宿題 15%

授業科目	日本語中上級D-2
担当教員	柳本大地・坂田光美
目 標	<p>1) コロケーションの学習によって、ことばのつながり、慣用句など、多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。</p> <p>2) 身近なトピックにより、日本に対する理解を深めるとともに、多様な場面や状況を理解し、語彙を増やす。聞き取りだけでなく、多様な活動を通して、日本語の運用能力を伸ばす。</p>
内 容	<p>本授業は、聴解クラス(8回)と語彙クラス(8回)の計16回から構成され、それぞれを関連付けながら、授業を進行する。</p> <p>【聴解】</p> <p>第1回話の大意／概要を聞き取る 第2回話の構成を聞き取る 第3回縮約された表現を聞き取る 第4回特殊な発音を聞き取る 第5回わからない言葉を無視して聞き取る 第6回接続詞に注目して聞き取る 第7回「区切り」に注目して聞き取る 第8回総復習、試験</p> <p>【語彙】</p> <p>第1回オリエンテーション 体の言葉(1) 「指」「刺」「挿」「差」を含む慣用表現を学ぶ 「眠気がさす」「肌を刺す」 など</p> <p>第2回体の言葉(2) 「手」を含む慣用表現を学ぶ 「手に入る」「手を休める」 など</p> <p>第3回動詞(1) 「取」「撮」「採」を含む慣用表現を学ぶ 「食事をとる」「メモをとる」 など</p> <p>第4回動詞(2) 「引」を含む慣用表現を学ぶ 「気を引く」「辞書を引く」 など</p> <p>第5回動詞(3) 「持」を含む慣用表現を学ぶ 「関心を持つ」「天気がもつ」 など</p> <p>第6回形容詞(1) 「軽」を含む慣用表現を学ぶ 「軽い食事」「口が軽い」 など</p> <p>第7回形容詞(2) 「寒」を含む慣用表現を学ぶ 「背筋が寒い」「懐が寒い」 など</p> <p>第8回テスト</p>
テキスト	<p>『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 中上級』(スリーエーネットワーク)</p> <p>『コロケーションで増やす表現—ほんきの日本語—vol. 1』(くろしお出版)</p>
成績評価	<p>【聴解】発表・討論への参加20% 試験30% 宿題30% 要旨の提出20%</p> <p>【語彙】発表・討論への参加15% 試験70% 宿題 15%</p>

・ レベル5

授業科目	日本語上級聴解A
担当教員	深見 兼孝
目 標	ラジオドラマの日本語を聞き取る力を養成する。
内 容	第1回導入。出会い(1) 第2回出会い(2) 第3回出会い(3) 第4回出会い(4) 第5回江夏(1) 第6回江夏(2) 第7回江夏(3) 第8回野球場(1)、中間テスト 第9回野球場(2) 第10回野球場(3) 第11回再会 第12回プレゼント(1) 第13回プレゼント(2) 第14回プレゼント(3) 第15回エピローグ、期末テスト
テキスト	『ラジオドラマCD博士の愛した数式』
成績評価	10回以上の出席を前提に、出席20%、テスト80%。

授業科目	日本語上級聴解B
担当教員	深見 兼孝
目 標	ニュースの日本語を聞き取る力を養成する。
内 容	第1回導入、経済・金融(1)(2) 第2回経済・金融(3)(4)(5) 第3回経済・金融(6)(7)(8) 第4回経済・金融(9)(10)(11) 第5回経済・金融(12)(13)(14) 第6回経済・金融(15)(16)(17) 第7回政治・行政(1)(2)(3) 第8回政治・行政(4)、中間テスト 第9回政治・行政(5)(6)(7) 第10回政治・行政(8)(9)(10) 第11回社会・生活(1)(2)(3) 第12回社会・生活(4)(5)(6) 第13回社会・生活(7)(8)(9) 第14回社会・生活(10)(11)(12) 第15回社会生活(13)(14)、期末テスト
テキスト	『ニュースの日本語聴解50』
成績評価	10回以上の出席を前提に、出席20%、テスト80%。

授業科目	日本語上級分析A
担当教員	中川 正弘
目 標	日本語で文章を書くことに慣れ、自分たち外国人の日本語を日本人の日本語と比較分析することで日本語の理解を深める。1タームは日本語への翻訳文、要約文が中心（3タームは報告文、説明文が中心）
内 容	<p>第1回外国人の日本語と日本人の日本語の違いについて</p> <p>第2回作文テーマ「自己紹介」／「春休みにしたこと」</p> <p>第3回作文テーマ「日本語についての質問」</p> <p>第4回作文テーマ「（Xを）なくした／（Xが）なくなった」</p> <p>第5回作文テーマ「日本人の使う外国語（英語／中国語／・・・）」</p> <p>第6回作文テーマ「こんな夢を見た」</p> <p>第7回作文テーマ「これはいけない」</p> <p>第8回作文テーマ「これは困った」</p> <p>第9回作文テーマ「わたしの好み」</p> <p>第10回作文テーマ「大学にしてもらいたいこと」</p> <p>第11回作文テーマ「今取り組んでいる研究／勉強」</p> <p>第12回作文テーマ「うらやましい」</p> <p>第13回作文テーマ「夏休みの予定」</p> <p>第14回作文テーマ「直された日本語についての質問」</p> <p>第15回作文テーマ「(自由)」</p> <p>第16回期末テスト</p>
テキスト	プリントを配布する。
成績評価	討論への参加30%、宿題作文30%、試験40%

授業科目	日本語上級分析B
担当教員	中川 正弘
目 標	日本語で文章を書くことに慣れ、自分たち外国人の日本語を日本人の日本語と比較分析することで日本語の理解を深める。1タームは日本語への翻訳文、要約文が中心（3タームは報告文、説明文が中心）
内 容	<p>第1回外国人の日本語と日本人の日本語の違いについて</p> <p>第2回作文テーマ「自己紹介」／「夏休みにしたこと」</p> <p>第3回作文テーマ「日本語についての質問」</p> <p>第4回作文テーマ「日本語への翻訳」</p> <p>第5回作文テーマ「今心配なこと」</p> <p>第6回作文テーマ「最近手に入れたもの」</p> <p>第7回作文テーマ「不思議だ」</p> <p>第8回作文テーマ「しまった！」</p> <p>第9回作文テーマ「研究テーマ／好きな勉強」</p> <p>第10回作文テーマ「楽しみにしている」</p> <p>第11回作文テーマ「夢中」</p> <p>第12回作文テーマ「驚いたニュース」</p> <p>第13回作文テーマ「馬鹿馬鹿しい」</p> <p>第14回作文テーマ「直された日本語についての質問」</p> <p>第15回作文テーマ「(自由)」</p> <p>第16回期末テスト</p>
テキスト	プリントを配布する。
成績評価	討論への参加30%、宿題作文30%、試験40%

授業科目	論文作成法A
担当教員	柳本 大地
目 標	日本語で論文を書くために必要な知識・文法・語彙を学び、書く能力を養成する。 研究活動を始め、論文を書くための知識を養う。
内 容	<p>授業内容を理解し、論文を書く上で必要な知識を学習する。また、自らが研究を行う上で必要な知識を養成する。授業内では、文法や使用語彙についての説明を行い、様々な分野の書き言葉を練習する。また、教材の内容の理解を深め、実際に研究活動に取り組みながら、学習する。</p> <p>第1回オリエンテーション、研究を始める前に 第2回アカデミックライティング<自己分析> 第3回テーマの決定について 第4回アカデミックライティング<書き言葉に統一する> 第5回資料収集について 第6回アカデミックライティング<「こと」の「の」を使い分ける> 第7回研究の大枠を決める 第8回中間テスト 第9回アカデミックライティング<文をシンプルにする> 第10回情報の整理について 第11回アカデミックライティング<語彙を適切に選択する> 第12回研究課題の決定について 第13回アカデミックライティング<首尾一貫させる> 第14回レポートの執筆について 第15回アカデミックライティング<形が似ている表現を使い分ける> 第16回期末テスト</p>
テキスト	「レポート・論文を書くための日本語文法」くろしお出版
成績評価	出席態度20% 発表・討論への参加30% 試験30% 宿題20%

授業科目	論文作成法B
担当教員	柳本 大地
目 標	日本語で論文を書くために必要な知識・文法・語彙を学び、書く能力を養成する。 研究活動を始め、論文を書くための知識を養う。
内 容	<p>授業内容を理解し、論文を書く上で必要な知識を学習する。また、自らが研究を行う上で必要な知識を養成する。授業内では、文法や使用語彙についての説明を行い、様々な分野の書き言葉を練習する。また、教材の内容の理解を深め、実際に研究活動に取り組みながら、学習する。</p> <p>第1回オリエンテーション、章立て 第2回アカデミックライティング<「は」と「が」を使い分ける> 第3回本論の書き方 第4回アカデミックライティング<書き手の視点を示す> 第5回引用の仕方 第6回アカデミックライティング<過去と現在のつながりを示す> 第7回図表の提示の仕方 第8回中間テスト 第9回アカデミックライティング<文章の中の語を指し示す> 第10回論文の形式について 第11回アカデミックライティング<前後の関係を表す> 第12回結論の書き方 第13回アカデミックライティング<前の文に関係づける> 第14回引用文献のまとめ方 第15回アカデミックライティング<効果的に意見を述べる> 第16回期末テスト</p>
テキスト	「レポート・論文を書くための日本語文法」くろしお出版 プリント教材を配布
成績評価	出席態度20% 発表・討論への参加30% 試験30% 宿題20%

授業科目	日本語上級語彙A
担当教員	田村 泰男
目 標	常用漢字に採択されている漢字の訓読みや慣用句、擬音語・擬態語を学習することによって、より自然な日本語表現能力の習得を目指す。
内 容	<p>第1回漢字の訓読み（1）、各種比喩表現</p> <p>第2回漢字の訓読み（2）、身体語彙を使った慣用句（1）</p> <p>第3回漢字の訓読み（3）、身体語彙を使った慣用句（2）</p> <p>第4回漢字の訓読み（4）、身体語彙を使った慣用句（3）</p> <p>第5回漢字の訓読み（5）、動植物の語彙を使った慣用句（1）</p> <p>第6回漢字の訓読み（6）、動植物の語彙を使った慣用句（2）</p> <p>第7回漢字の訓読み（7）、動植物の語彙を使った慣用句（3）</p> <p>第8回中間テスト</p> <p>第9回新常用漢字（1）、各種慣用表現（1）</p> <p>第10回新常用漢字（2）、各種慣用表現（2）</p> <p>第11回新常用漢字（3）、各種慣用表現（3）</p> <p>第12回新常用漢字（4）、擬音語・擬態語（1）</p> <p>第13回新常用漢字（5）、擬音語・擬態語（2）</p> <p>第14回新常用漢字（6）、擬音語・擬態語（3）</p> <p>第15回新常用漢字（7）、擬音語・擬態語（4）</p> <p>第16回期末テスト</p>
テキスト	プリントを配布する。
成績評価	発表・討論への参加20% 試験80%

授業科目	日本語上級語彙B
担当教員	田村 泰男
目 標	慣用的な読み方をする漢字や類義語、接頭辞・接尾辞などを学習することによって、日本語での表現能力を高めるとともに、各種類意表現のもつ意味上の微妙な違いについての理解をはかる。
内 容	第1回熟語訓（1）、類義語（1）－副詞 第2回熟語訓（2）、類義語（2）－副詞 第3回熟語訓（3）、類義語（3）－形容詞・形容動詞 第4回熟語訓（4）、類義語（4）－接続詞 第5回熟語訓（5）、類意表現（1） 第6回熟語訓（6）、類意表現（2） 第7回熟語訓（7）、類意表現（3） 第8回中間テスト 第9回熟語訓（8）、複合動詞（1） 第10回複数の訓読みを持つ漢字（1）、複合動詞（2） 第11回複数の訓読みを持つ漢字（2）、接頭辞・接尾辞（1） 第12回複数の訓読みを持つ漢字（3）、接頭辞・接尾辞（2） 第13回畳語形容詞・畳語副詞、接頭辞・接尾辞（3） 第14回同形異音語（1）、複合名詞・複合形容詞（1） 第15回同形異音語（2）、複合名詞・複合形容詞（2） 第16回期末テスト
テキスト	プリントを配布する。
成績評価	発表・討論への参加20% 試験80%

授業科目	日本語上級映像A
担当教員	石原 淳也
目 標	短いドラマ「野田ともうします」を見ていく中で、1)日本語の音声に関する解説および聞き取り練習を行うこと、2)セリフに出てくる語の用法・意味の解説、出演者の動作・振る舞いなどを意識することを通じて語彙を増やすこと、3)出演者がなぜそのように振る舞うかということを通じて日本人の文化、考え方を理解すること、4)扱われるエピソードを通じて日本の社会・文化を知ること为目标とする。
内 容	<p>第1回授業の進め方についての説明</p> <p>第2回エピソード1「野田さんのガールズトーク」視聴、問題実施</p> <p>第3回エピソード1「野田さんのガールズトーク」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第4回エピソード2「私達は期待していく」視聴、問題実施</p> <p>第5回エピソード2「私達は期待していく」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第6回エピソード3「喫煙席発 過去行」視聴、問題実施</p> <p>第7回エピソード3「喫煙席発 過去行」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第8回ディスカッション</p> <p>第9回エピソード4「野田の名前」視聴、問題実施</p> <p>第10回エピソード4「野田の名前」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第11回エピソード5「女が男に会う時・・・」視聴、問題実施</p> <p>第12回エピソード5「女が男に会う時・・・」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第13回ディスカッション</p> <p>第14回エピソード6「男と女のラブゲーム」視聴、問題実施</p> <p>第15回エピソード6「男と女のラブゲーム」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第16回ディスカッション</p>
テキスト	語彙ハンドアウトを配布。テキストは使用しない。
成績評価	授業への積極的参加・貢献20% 授業中に実施する問題30% 期末レポート50%

授業科目	日本語上級映像B
担当教員	石原 淳也
目 標	短いアニメ「天体戦士サンレッド」を見ていく中で、1)日本語の音声に関する解説および聞き取り練習を行うこと、2)セリフに出てくる語の用法・意味の解説、出演者の動作・振る舞いなどを意識することを通じて語彙を増やすこと、3)出演者がなぜそのように振る舞うかということを通じて日本人の文化、考え方を理解すること、4)扱われるエピソードを通じて日本の社会・文化を知ること为目标とする。
内 容	<p>第1回授業の進め方についての説明</p> <p>第2回エピソード1「出撃！サンレッド」視聴、問題実施</p> <p>第3回エピソード1 「出撃！サンレッド」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第4回エピソード2 「じごくの宮本むさし作戦」問題実施</p> <p>第5回エピソード2 「じごくの宮本むさし作戦」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第6回エピソード3 「炸裂!?ツインデスアタック」視聴、問題実施</p> <p>第7回エピソード3 「炸裂!?ツインデスアタック」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第8回ディスカッション</p> <p>第9回エピソード4 「フロシャイム恐怖の潜入作戦」視聴、問題実施</p> <p>第10回エピソード4 「フロシャイム恐怖の潜入作戦」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第11回エピソード5 「ウサコッツ戦慄の秘密!？」視聴、問題実施</p> <p>第12回エピソード5 「ウサコッツ戦慄の秘密!？」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第13回ディスカッション</p> <p>第14回エピソード6 「恐怖!フロシャイム作戦第一号」視聴、問題実施</p> <p>第15回エピソード6 「恐怖!フロシャイム作戦第一号」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第16回ディスカッション</p>
テキスト	語彙ハンドアウトを配布。テキストは使用しない。
成績評価	授業への積極的参加・貢献20% 授業中に実施する問題30% 期末レポート50%

授業科目	ビジネス日本語 A
担当教員	千馬 智子
目 標	職場のコミュニケーションにおける日本語を学び、場面に適切な表現の運用力を養成する。 ケーススタディを通して、異文化間コミュニケーションにおける注意点に目を向ける。
内 容	第1回自己紹介 ケーススタディ（異文化理解） 第2回自己紹介ロールプレイ 名刺交換 第3回あいさつのいろいろ ケーススタディ 第4回あいさつロールプレイ おじぎ 第5回電話の応対 伝言 第6回電話の応対ロールプレイ 第7回謝罪する 謝罪のストラテジー 第8回中間試験 第9回依頼する 依頼のストラテジー 第10回依頼ロールプレイとメール 第11回許可を求める ケーススタディ 第12回許可をもとめるロールプレイ 第13回アポイントを取る 第14回アポイントを取るロールプレイ 第15回訪問する ケーススタディ 第16回期末試験
テキスト	ビジネス日本語マスターテキスト（IBCパブリッシング） にほんごで働く！ビジネス日本語30時間（スリーエーネットワーク） ビジネスコミュニケーションのためのケース学習（ココ出版）など プリント配布
成績評価	教室活動への参加30% 復習クイズ30% 試験40%

授業科目	ビジネス日本語 B
担当教員	吉野 邦美
目 標	職場のコミュニケーションにおける日本語を学び、場面に適切な表現の運用力を養成する。
内 容	<p>第1回ビジネスに必要な敬語表現</p> <p>第2回第1課 自己紹介（社内）</p> <p>第3回第1課 自己紹介（社外）</p> <p>第4回第2課 電話を受ける（担当者に取り次ぐ）</p> <p>第5回につぼんのカイシャ（1）</p> <p>第6回第2課 電話を受ける（伝言を受ける）</p> <p>第7回中間試験</p> <p>第8回第3課 アポイントを取る</p> <p>第9回第3課 アポイントを変更する</p> <p>第10回につぼんのカイシャ（2）</p> <p>第11回第4課 アポイントメントを取る</p> <p>第12回第5課 会議に参加する</p> <p>第13回第6課 クレームを受ける</p> <p>第14回につぼんのカイシャ（3）</p> <p>第15回第7課 クレームを報告する</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	『上級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語-グローバル企業でのキャリア構築をめざして』村野節子・山辺真理子・向山陽子著（スリーエーネットワーク）
成績評価	課題20%・中間期末試験80%

・ 特定研究

授業科目	日本語・日本文化特別研究 A-1
担当教員	石原淳也・名塩征史
目 標	一連の特別講義、および見学・実習から、日本語、日本文化、日本社会、日本の歴史についてのより広く、高度な知識を身につける。また、特別講義、見学をヒントに、自分の研究テーマを考える。
内 容	第1回オリエンテーション 第2回広島見学1（広島城、平和公園） 第3回特別講義「音声学・音韻論」 第4回特別講義「日本語と文体1」 第5回ホームステイ協会 そば打ち体験 第6回特別講義「現代日本語の語彙1」 第7回広島見学2（現代美術館、放射線影響研究所） 第8回宮島見学
テキスト	講義・見学の前に資料を配付する。
成績評価	授業への積極的参加・貢献30% 見学レポート70%

授業科目	日本語・日本文化特別研究 A-2
担当教員	石原淳也・名塩征史
目 標	一連の特別講義、および見学・実習から、日本語、日本文化、日本社会、日本の歴史についてのより広く、高度な知識を身につける。また、特別講義、見学をヒントに、自分の研究テーマを考える。
内 容	第1回オリエンテーション 第2回特別講義「俳句入門」 第3回マツダ見学 第4回特別講義「日本語と文体1」 第5回特別講義「現代日本語の語彙2」 第6回特別講義「グローバル社会における日本の大学と地域」 第7回特別講義「インド仏教と日本文化」 第8回瀬戸内海しまなみ研修ツアー
テキスト	講義・見学の前に資料を配付する。
成績評価	授業への積極的参加・貢献30% 見学レポート70%

授業科目	日本語・日本文化特別研究B-1
担当教員	石原淳也・名塩征史
目 標	一連の特別講義、および見学・実習から、日本語、日本文化、日本社会、日本の歴史についてのより広く、高度な知識を身につける。また、一人一人が自分のテーマで行っている研究の内容について発表、ディスカッションを行う。
内 容	第1回 オリエンテーション 第2回 研修レポート構想発表 第3回 特別講義「日本語と文体2」 第4回 サタケ見学 第5回 尾道見学 第6回 特別講義「日本語と方言」 第7回 特別講義「日本語と文化」 第8回 ホームステイ協会交流会
テキスト	講義・見学の前に資料を配付する。
成績評価	授業への積極的参加・貢献30% 見学レポート70%

授業科目	日本語・日本文化特別研究B-2
担当教員	石原淳也・名塩征史
目 標	一連の特別講義、および見学・実習から、日本語、日本文化、日本社会、日本の歴史についてのより広く、高度な知識を身につける。また、一人一人が自分のテーマで行っている研究の内容について発表、ディスカッションを行う。
内 容	第1回 呉見学 第2回 特別講義「古事記と日本神話」 第3回 特別講義「現代日本の政治システム」 第4回 研修レポート中間発表 第5回 予備日 第6回 特別講義「日本のマスコミ、出版」 第7回 松江・出雲見学旅行 第8回 研修レポート発表会
テキスト	講義・見学の前に資料を配付する。
成績評価	授業への積極的参加・貢献30% 見学レポート70%

(霞キャンパス)

・レベル1

授業科目	日本語入門1
担当教員	渡部浩見
目 標	かな及び基礎的な漢字の読み方・書き方、初歩的文法を修得する。
内 容	第1回授業ガイダンス、日本語文字インストラダクション、挨拶、教室用語、ひらがな練習；清音 第2回ひらがな；清音復習・濁音・半濁音・撥音・促音 第3回ひらがな；拗音・長音、カタカナ；読み・書き練習 第4回ひらがな復習、カタカナ読み・書き練習、文型「N1はN2です」、助詞「は」「を」 第5回自己紹介：国籍、身分、専門、数字1 ¹⁰ 第6回疑問表現：「～ですか」、数字11 ⁹⁹⁹ 第7回数字1000 [~] 、数字復習、値段 第8回指示の表現、語彙(日用品・食べ物・飲み物) 第9回基本動詞；V-ます形、文型；「NをV-ます/ません」 第10回時刻「～時～分」、「～時に」、「N1からN2まで」 第11回動詞過去形「V-ました/ませんでした」、助詞；placeへ、vehicleで、personと 第12回時の表現：年月日・週・誕生日 第13回誘いの表現：「V-ませんか」「V-ましょう」 第14回存在の動詞：「います/あります」、「placeにNがいます/あります」 第15回復習 第16回期末試験
テキスト	「Basic Japanese for Students はかせ1」（スリーエーネットワーク）
成績評価	発話・発表への参加20% 試験50% 小テスト20% 宿題10%

授業科目	日本語入門 2
担当教員	渡部 浩見
目 標	かな及び基礎的な漢字の読み方・書き方、初歩的文法を修得する。
内 容	<p>第1回存在の動詞「placeにNがあります・あります」、「何か」「何が」「誰か」「誰が」「何も」「誰も」</p> <p>第2回位置の表現、地図・方角</p> <p>第3回目的：「N.に/V-に行きます/来ます」</p> <p>第4回授受の動詞：「あげます/もらいます」</p> <p>第5回形容詞導入 i-Adj./na-Adj. 「N.はAdj.です」「Adj.+N.」</p> <p>第6回形容詞を使って述べる；町・国の紹介</p> <p>第7回形容詞否定形；「i-Adj.-くないです/na-Adj.ではありません」</p> <p>第8回形容詞過去形「iAdj.かったです/naAdj.でした」、印象を述べる</p> <p>第9回「N1はN2がAdjです」、希望を述べる：「N.がほしいです/V-たいです」</p> <p>第10回「N.が好きです/嫌いです」</p> <p>第11回「N.が上手です/下手です」「N.がわかります」、程度の副詞</p> <p>第12回比較の表現；「N1はN2よりAdj.です」/「N2の方がN1よりAdj.です」</p> <p>第13回最上の表現：「N1でN2が一番 iAdj./naAdj.です」</p> <p>第14回復習</p> <p>第15回「はかせ1」総復習</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	「Basic Japanese for Students はかせ1」（スリーエーネットワーク）
成績評価	発話・発表への参加20% 試験50% 小テスト20% 宿題10%

・ レベル 2

授業科目	日本語初級 1
担当教員	渡部 浩見
目 標	日本語入門 1, 2 に続き、基本文法を修得し、日常生活・学習環境に必要な初級日本語を習得する。
内 容	<p>第1回ガイダンス、レベルチェック、自己紹介、『はかせ1』の復習 第2回理由「～から」、電話の会話：敬語表現 第3回助数詞、文型と語順 第4回依頼：動詞V-て形；「V-てください」「V-てくださいませんか」「V-て、V-て～」 第5回時の表現；期間；「N1からN2までtimeかかります」 第6回動作の進行・習慣・状態；「V-ています」 第7回家族の呼称、家族の紹介、職業 第8回許可・禁止；「V-てもいいです」「V-てはいけません」 第9回住居・家賃・規則 第10回動詞：V-ない形；「V-ないてください」、公共マナー 第11回経験；「V-たことがあります」、「V-たり、V-たりします」 第12回助言；「V-た/V-ないほうがいいです」 第13回動詞の辞書形の作り方と使い方 第14回動詞の分類、活用、普通体と丁寧体 第15回復習 第16回期末試験</p>
テキスト	「Basic Japanese for Students はかせ2」（スリーエーネットワーク）
成績評価	発話・発表への参加20% 試験50% 小テスト20% 宿題10%

授業科目	日本語初級 1
担当教員	渡部 浩見
目 標	日本語入門 1, 2 に続き、基本文法を修得し、日常生活・学習環境に必要な初級日本語を習得する。
内 容	第1回可能：「N.ができます」「Vことができます」 第2回趣味：「V-辞書形+ことです」 第3回「iAdj./naAdj./N/Vと思います」「～と言いました」 第4回普通体会話 第5回「iAdj./naAdj./N/V 時、～」 第6回「Nは と読みます/言います」 第7回条件：「V-たら～」 第8回譲歩：「V-ても～」 第9回口語表現：「～んです」 第10回応用会話練習 第11回「iAdj./naAdj./Nなります」 第12回作文練習 第13回葉書・手紙の書き方 第14回復習問題 第15回総復習 第16回期末試験
テキスト	「Basic Japanese for Students はかせ 2」（スリーエーネットワーク）
成績評価	発話・発表への参加20% 試験50% 小テスト20% 宿題10%

日本語教育部門：留学生関係科目
(2019年4月～2020年3月)

田村泰男

1. 授業科目一覧
・東広島キャンパス

授 業 科 目	開 設 単位数	学期別週授業時数		受講登録者数	
		前 期	後 期	前 期	後 期
Introductory Japanese A-1	2		4		4
Introductory Japanese A-2	2		4		6
Introductory Japanese B-1	2		4		8
Introductory Japanese B-2	2		4		3
Elementary Japanese A-1	3・3	6	6	7	19
Elementary Japanese A-2	3・3	6	6	6	18
Elementary Japanese B-1	1・1	2	2	7	21
Elementary Japanese B-2	1・1	2	2	6	18
Intermediate Japanese A-1	2		4		43
Intermediate Japanese A-2	2		4		39
Intermediate Japanese B-1	1		2		43
Intermediate Japanese B-2	1		2		45
Intermediate Japanese C-1	1		2		40
Intermediate Japanese C-2	1		2		39
Intermediate Japanese D-1	2	4		12	
Intermediate Japanese D-2	2	4		11	
Intermediate Japanese E-1	1	2		12	
Intermediate Japanese E-2	1	2		11	
Intermediate Japanese F-1	1	2		15	
Intermediate Japanese F-2	1	2		11	

Upper-Intermediate Japanese A-1	2		4		58
Upper-Intermediate Japanese A-2	2		4		51
Upper-Intermediate Japanese B-1	1		2		42
Upper-Intermediate Japanese B-2	1		2		35
Upper-Intermediate Japanese C-1	1		2		46
Upper-Intermediate Japanese C-2	1		2		42
Upper-Intermediate Japanese D-1	2	4		50	
Upper-Intermediate Japanese D-2	2	4		32	
Upper-Intermediate Japanese E-1	1	2		43	
Upper-Intermediate Japanese E-2	1	2		28	
Upper-Intermediate Japanese F-1	1	2		39	
Upper-Intermediate Japanese F-2	1	2		21	
Advanced Japanese Listening A-1	1	2		34	
Advanced Japanese Listening A-2	1	2		32	
Advanced Japanese Listening B-1	1		2		33
Advanced Japanese Listening B-2	1		2		34
Advanced Japanese Analysis A-1	1	2		21	
Advanced Japanese Analysis A-2	1	2		21	
Advanced Japanese Analysis B-1	1		2		23
Advanced Japanese Analysis B-2	1		2		23
Academic Writing A-1	1	2		36	
Academic Writing A-2	1	2		33	
Academic Writing B-1	1		2		39
Academic Writing B-2	1		2		35
Advanced Japanese Vocabulary A-1	1	2		32	
Advanced Japanese Vocabulary A-2	1	2		28	

Advanced Japanese Vocabulary B-1	1		2		31
Advanced Japanese Vocabulary B-2	1		2		32
Advanced Japanese Cinema A-1	1	2		41	
Advanced Japanese Cinema A-2	1	2		41	
Advanced Japanese Cinema B-1	1		2		34
Advanced Japanese Cinema B-2	1		2		34
Business Japanese A-1	1	2		23	
Business Japanese A-2	1	2		25	
Business Japanese B-1	1		2		45
Business Japanese B-2	1		2		38

2. 授業内容

(東広島キャンパス)

・レベル1

授業科目	Introductory Japanese A-1
担当教員	サリ・チャン・上村貴世子
目 標	かなと基本文法を習得させる。
内 容	第1回ひらがなの導入、基本の挨拶 第2回名詞文 第3回カタカナの導入 第4回否定文と質問文 第5回指示詞(1) 第6回指示詞(2)と場所の聞き方 第7回時間を聞く、動詞の導入 第8回動詞の過去形・否定形 第9回中間試験、移動動詞 第10回他動詞、助詞「で」 第11回授受表現 第12回形容詞(1) 第13回形容詞(2)と頻度 第14回「好き」・「嫌い」の表現 第15回復習 第16回期末試験
テキスト	『みんなの日本語初級I 本冊』(スリーエーネットワーク)
成績評価	試験50% 宿題20% プロジェクト20% オンライン参加10%

授業科目	Introductory Japanese A-2
担当教員	サリ・チャン・上村貴世子
目 標	日本語の基本文法を習得させる。
内 容	第1回助数詞 第2回 形容詞と名詞の過去形・否定形 第3回比較文(1) 第4回 比較文(2) 第5回希望を表す 第6回 移動の目的 第7回動詞とテ形 第8回 テ形を使う文法項目 第9回中間試験、動詞の否定形 第10回動詞の否定形を使った文法項目 第11回動詞の辞書形、趣味 第12回動詞辞書形と過去形 第13回辞書形の会話 第14回修飾句、「～と思います」 第15回「～たら」、まとめ、復習 第16回期末試験
テキスト	『みんなの日本語初級I 本冊』(スリーエーネットワーク)
成績評価	試験50% 宿題20% プロジェクト20% オンライン参加10%

授業科目	Introductory Japanese B-1
担当教員	サリ・チャン・佐藤道雄
目 標	基本的な日本語会話を身に付けさせ、語彙と漢字の知識を増やす。
内 容	<p>第1回発音の基本、自己紹介（1） 第2回ひらがな 第3回自己紹介（2）、相槌 第4回カタカナ・今週の語彙 第5回自己紹介（3）、基本会話の発展 第6回漢字について・今週の語彙 第7回先生の研究室を訪問、時間と場所を聞く 第8回今週の語彙・漢字 第9回「これ／それ／あれはなんですか」・日本語が分からない時の対応 第10回今週の語彙・漢字 第11回日常ルーティン 第12回今週の語彙・漢字 第13回会話テスト 第14回今週の語彙・漢字 第15回好きなものや嫌いなもの 第16回まとめ</p>
テキスト	『みんなの日本語初級Ⅰ 本冊』（スリーエーネットワーク）
成績評価	会話テスト35% 音読15% オンライン参加10% 週テスト40%

授業科目	Introductory Japanese B-2
担当教員	サリ・チャン・佐藤道雄
目 標	基本的な日本語会話を身に付けさせ、語彙と漢字の知識を増やす。
内 容	<p>第1回お誘い・レストランで 第2回ひらがな・カタカナ 第3回家族 第4回今週の語彙・漢字 第5回誕生日 第6回今週の語彙・漢字 第7回パーティーの写真 第8回今週の語彙・漢字 第9回日本人の家に訪れる 第10回今週の語彙・漢字 第11回会話テスト 第12回今週の語彙・漢字 第13回友だちとの会話1 第14回今週の語彙・漢字 第15回友だちとの会話2 第16回今週の語彙・漢字</p>
テキスト	『みんなの日本語初級Ⅰ 本冊』（スリーエーネットワーク）
成績評価	会話テスト35% 音読15% オンライン参加10% 週テスト40%

・レベル2

授業科目	Elementary Japanese A-1
担当教員	恒松直美
目 標	初級後半レベルの基礎的な語彙・文型・表現・漢字を学習し、種々の場面に応じた実用的な日本語表現能力を習得する。文法の概説に加え、インタラクティブに日本語を学習するとともに、日本の文化的背景も理解する。ショートスピーチを作り発表する。
内 容	第1回授業オリエンテーション・復習 第2回・第3回依頼表現 第4回・第5回可能表現 第6回・第7回継続・習慣の表現 第8回・第9回理由の表現 第10回・第11回完了表現 第12回中間テスト 第13回・第14回自動詞・他動詞 第15回・第16回意志・予定の表現 第17回・第18回推量表現 第19回・第20回忠告の表現、命令・禁止表現 第21回・第22回時間表現、付帯状況の表現 第23回期末テスト 第24回 インタビューテスト
テキスト	「みんなの日本語初級II」本冊&翻訳・文法解説（英語版）
成績評価	発表(15%) 1分スピーチ(5%) 小テスト(ボキャブラリー・漢字)(20%) 宿題(10%) 中間テスト(20%) 期末テスト(20%) インタビューテスト(10%)

授業科目	Elementary Japanese A-2
担当教員	恒松直美
目 標	初級後半レベルの基礎的な語彙・文型・表現・漢字を学習し、種々の場面に応じた実用的な日本語表現能力を習得する。文法の概説に加え、インタラクティブに日本語を学習するとともに、日本の文化的背景も理解する。ショートスピーチを作り発表する。
内 容	第1回授業オリエンテーション・復習 第2回・第3回条件表現 第4回・第5回目的・目標の表現 第6回・第7回状態変化の表現 第8回・第9回受身表現 第10回・第11回形式名詞 第12回中間テスト 第13回・第14回理由・原因の表現 第15回・第16回疑問詞疑問文 第17回・第18回試行の表現 第19回・第20回授受表現 第21回・第22回様態の表現、伝聞表現 第23回期末テスト 第24回インタビューテスト
テキスト	「みんなの日本語初級II」本冊&翻訳・文法解説（英語版）
成績評価	発表(15%) 1分スピーチ(5%) 小テスト(ボキャブラリー・漢字)(20%) 宿題(10%) 中間テスト(20%) 期末テスト(20%) インタビューテスト(10%)

授業科目	Elementary Japanese B-1
担当教員	下村真理子
目 標	下記の学習項目に関する語彙を表記とともに確認し、実践的な知識としての定着を目指す。
内 容	第1回コースオリエンテーション、説明表現① 第2回説明表現②、可能表現 第3回継続・習慣の表現、自他動詞 第4回完了表現、準備状況を説明する表現 第5回意思・予定の表現、助言の表現 第6回推量表現、付帯状況の表現 第7回命令・禁止の表現 第8回総復習、試験
テキスト	「みんなの日本語初級Ⅱ本冊 第2版」「みんなの日本語初級Ⅱ 第2版漢字練習帳」 「みんなの日本語初級Ⅱ翻訳・文法解説英語版」
成績評価	授業への参加態度15% 試験50% 宿題15% クイズ20%

授業科目	Elementary Japanese B-2
担当教員	下村真理子
目 標	下記の学習項目に関する語彙を表記とともに確認し、実践的な知識としての定着を目指す。
内 容	第1回条件表現 第2回習慣の変化を表す表現、受け身表現 第3回名詞節を含む文、原因・理由の表現 第4回疑問文が埋め込まれた文、授受表現 第5回目的・用途を表す表現 第6回予期・予感を表す表現 第7回敬語表現 第8回総復習、試験
テキスト	「みんなの日本語初級Ⅱ本冊 第2版」「みんなの日本語初級Ⅱ 第2版漢字練習帳」 「みんなの日本語初級Ⅱ翻訳・文法解説英語版」
成績評価	授業への参加態度15% 試験50% 宿題15% クイズ20%

・ レベル3

授業科目	Intermediate Japanese A-1
担当教員	石原 淳也
目 標	中級レベルの長い文章を読み、それが何を伝えようとしたものであるかを確実に読みとる読解力を身に付け、さらにその内容を的確に言語表現できる能力を養うことを目標とする。
内 容	<p>それぞれの課に出てくる文型、語彙等について解説を加えた後、長文を読み内容を理解したうえで、長文の内容について質問をする。適宜、トピックに関連した日本文化についての解説を加える。</p> <p>第1回オリエンテーション、自己紹介のやり方 第2回読解「新宿」(導入) 第3回格助詞(1)「で」「に」、連体修飾節、接尾語「館」「口」「者」 第4回格助詞(2)「へ」「を」「と」、対比の「は」、接続詞「それで」 第5回読解「日本の方言」(導入) 第6回引用の「と」、「～といます」「～という～」、「同じです／違います」 第7回接続詞「時」、動詞「なる」、代名詞「の」 第8回中間試験 第9回読解「日本間」(導入) 第10回自動詞／他動詞、動詞「表す」、設置の動詞、副詞「もう」「まだ」 第11回補助動詞「～ていく」、経験「～ことがある」、接尾語「人」「風」「的」 第12回読解「マンガ文化」(導入) 第13回様態表現「そうだ」、命令形／禁止形、 第14回補助動詞「～てくる」、完了表現「～てしまう」 第15回副詞「もう／まだ」、難易表現「～にくい／～やすい」</p> <p>* 中間、期末の二回、試験を行う。</p>
テキスト	「日本語2ndステップ」(白帝社)
成績評価	授業態度20% 宿題10% 試験70%

授業科目	Intermediate Japanese A-2
担当教員	石原 淳也
目 標	中級レベルの長い文章を読み、それが何を伝えようとしたものであるかを確実に読みとる読解力を身に付け、さらにその内容を的確に言語表現できる能力を養うことを目標とする。
内 容	<p>それぞれの課に出てくる文型、語彙等について解説を加えた後、長文を読み内容を理解したうえで、長文の内容について質問をする。適宜、トピックに関連した日本文化についての解説を加える。</p> <p>第1回オリエンテーション、読解「すし」(導入) 第2回「好き／嫌い」の表現、五段動詞／一段動詞の可能表現、「～ことができる」 第3回「～ようになる」、格助詞「から」「で」、補助動詞「～ておく」 第4回目的表現「～には」、味覚の表現「あまい／からい／にがい／しぶい」、料理の語彙 第5回読解「寄席」(導入) 第6回比較表現、副助詞「は」「も」 第7回形式名詞「もの」「こと」、接尾語「家」「師」「場」 第8回中間試験 第9回読解「経済発展」(導入) 第10回接続助詞「から」「ので」「のに」、形式名詞「ため」(1)、直喩表現「ような」 第11回格助詞「と」、接尾語「分」「倍」「化」、副詞「なかなか」「あまり」 第12回読解「線路わきのやぎ」(導入) 第13回授受表現(1)「さしあげる」「あげる」「やる」、形式名詞「ため」(2) 第14回授受表現(2)「いただく」「もらう」、推量表現「らしい」、助詞「まで／までに」 第15回授受表現(3)「くださる」「くれる」、接尾語「員」「品」「つき」</p> <p>* 中間、期末の二回、試験を行う。</p>
テキスト	「日本語2ndステップ」(白帝社)
成績評価	授業態度20% 宿題10% 試験70%

授業科目	Intermediate Japanese B-1
担当教員	下村真理子
目 標	音声教材を用いて、一定の長さの説明文や解説文の聞き取り能力を養うとともに、総合的な日本語能力を高める。
内 容	<p>1) トピックに関するCDを聞いて、内容を理解する。 2) 内容について話し合ったり、要約文をかいたりする。</p> <p>第1回オリエンテーション、ことばの意味、由来を聞き取る 第2回図を参照しながら説明を聞き取る、物の特徴や用途を聞き取る 第3回エピソードの要点を聞き取る、物の仕組みを聞き取る 第4回グラフを参照しながら変化を聞き取る、調査の結果と考え方を聞き取る 第5回ことばの意味・分類を聞き取る、会話から情報を聞き取る 第6回物の順序を聞き取る、情報を整理しながら聞き取る 第7回会話から情報を聞き取る 第8回総復習、試験</p>
テキスト	「新毎日の聞き取り50日 上」(凡人社)
成績評価	授業への参加態度と小テスト15% 試験70% 宿題15%

授業科目	Intermediate Japanese B-2
担当教員	下村真理子
目 標	音声教材を用いて、一定の長さの説明文や解説文の聞き取り能力を養うとともに、総合的な日本語能力を高める。
内 容	<p>1) トピックに関するCDを聞いて、内容を理解する。 2) 内容について話し合ったり、要約文をかいたりする。</p> <p>第1回心理や行動の理由を聞き取る、手順・効果を聞き取る 第2回情報を整理しながら聞き取る、物の由来としくみを聞き取る 第3回事象の根拠を聞き取る、情報を整理しながら聞き取る 第4回物の特徴を聞き取る、数値の表す意味を聞き取る 第5回情報を整理しながら聞き取る、物語の要点を聞き取る 第6回数値を聞き取る、調査の結果と理由を聞き取る 第7回エピソードの要点を聞き取る 第8回総復習、試験</p>
テキスト	「新毎日の聞き取り50日 上」(凡人社)
成績評価	授業への参加態度と小テスト15% 試験70% 宿題15%

授業科目	Intermediate Japanese C-1
担当教員	山中康子
目 標	身近な生活場面や日本文化・習慣などテーマに沿って、中級程度の多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。
内 容	<p>1) 基本義の確認をし、例文を作る 2) 教科書の練習問題を通して、使い方を学ぶ 3) 聞き取り・発表・ロールプレイなどのタスクに取り組み、運用力を伸ばす</p> <p>第1回オリエンテーション、「料理」に関することば 第2回「病気・症状」(1)基礎 第3回「病気・症状」(2)応用 第4回「性格」(1)基礎 第5回「性格」(2)応用 第6回「住居」(1)基礎 第7回「住居」(2)応用 第8回総復習、期末テスト</p>
テキスト	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング』 (アスク出版)
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題 10%

授業科目	Intermediate Japanese C-2
担当教員	山中康子
目 標	身近な生活場面や日本文化・習慣などテーマに沿って、中級程度の多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。
内 容	<p>1) 基本義の確認をし、例文を作る 2) 教科書の練習問題を通して、使い方を学ぶ 3) 聞き取り・発表・ロールプレイなどのタスクに取り組み、運用力を伸ばす</p> <p>第1回オリエンテーション、「結婚」に関することば 第2回「季節」に関する表現(1)基礎 第3回「季節」に関する表現(2)応用 第4回慣用句・ことわざ(1)基礎 第5回慣用句・ことわざ(2)応用 第6回名所紹介(1)基礎 第7回名所紹介(2)応用 第8回総復習、期末テスト</p>
テキスト	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング』 (アスク出版)
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題 10%

授業科目	Intermediate Japanese D-1
担当教員	石原 淳也
目 標	中級レベルの長い文章を読み、それが何を伝えようとしたものであるかを確実に読みとる読解力を身に付け、さらにその内容を的確に言語表現できる能力を養うことを目標とする。それぞれの課に出てくる文型、語彙等について解説を加えた後、長文を読み内容を理解したうえで、長文の内容について質問をする。適宜、トピックに関連した日本文化についての解説を加える。
内 容	<p>第1回オリエンテーション、自己紹介のやり方</p> <p>第2回読解「工場見学」(導入)</p> <p>第3回時間表現「前に」「後で」「～てから」、接続表現「～たり～たり」「～ながら」</p> <p>第4回依頼表現「～てください／～ないてください」、移動動詞と格助詞「を」、引用表現</p> <p>第5回読解「思い出の人形」(導入)</p> <p>第6回動詞の「て」形、補助動詞「～ている」、動詞「する」、疑問詞を含む従属節</p> <p>第7回「～が見える／聞こえる」、接尾語「ぶり」</p> <p>第8回中間試験</p> <p>第9回読解「青と緑」(導入)</p> <p>第10回推量表現「そうだ」、文末表現、「のだ」、補助動詞「～てみる」</p> <p>第11回副助詞「だけ」「しか」「ばかり」、接尾語「気」</p> <p>第12回読解「志のままに」(導入)</p> <p>第13回丁寧形／普通形、願望表現「～たい」「ほしい」、意志表現「つもりだ」「～ようと思う」</p> <p>第14回補助動詞「～てしまう」、目的表現「ために」、形式名詞「まま」</p> <p>第15回接頭語「不」「大」、接尾語「中」「法」「病」「歳」、複合動詞「～合う」</p> <p>* 中間、期末の二回、試験を行う。</p>
テキスト	「日本語2ndステップ」(白帝社)
成績評価	授業態度20% 宿題10% 試験70%

授業科目	Intermediate Japanese D-2
担当教員	石原 淳也
目 標	中級レベルの長い文章を読み、それが何を伝えようとしたものであるかを確実に読みとる読解力を身に付け、さらにその内容を的確に言語表現できる能力を養うことを目標とする。
内 容	<p>第1回オリエンテーション、読解「河童」(導入)</p> <p>第2回構文「～は～が～」、疑問詞のない従属節、直喩表現「ようだ」</p> <p>第3回忠告・助言の表現「～た／～ない方がいい」、名詞「ところ」、接頭語「大」</p> <p>第4回復合助詞「～にとって／～に対して」、「上手／下手」、「平気／苦手」</p> <p>第5回読解「睡眠」(導入)</p> <p>第6回許可の表現、禁止の表現、義務の表現、助言を求める表現</p> <p>第7回条件表現「～と」、否定表現「～ずに」、副助詞「ばかり」、接続助詞「し」</p> <p>第8回中間試験</p> <p>第9回読解「地震」(導入)</p> <p>第10回命令・忠告の表現「～ように言う／注意する」、可能性の表現「かもしれない」</p> <p>第11回推量表現「ようだ」「だろう／でしょう」、条件表現「～ば」、接続助詞「ても」</p> <p>第12回読解「宮沢賢治」(導入)</p> <p>第13回使役表現(1)自動詞、形式名詞「こと」</p> <p>第14回使役表現(2)他動詞、接尾語「らしい」</p> <p>第15回副詞「やっ／ようやく」、接尾語「人」「集」「冊」「界」</p> <p>＊中間、期末の二回、試験を行う。</p> <p>それぞれの課に出てくる文型、語彙等について解説を加えた後、長文を読み内容を理解したうえで、長文の内容について質問をする。適宜、トピックに関連した日本文化についての解説を加える。</p>
テキスト	「日本語2ndステップ」(白帝社)
成績評価	授業態度20% 宿題10% 試験70%

授業科目	Intermediate Japanese E-1
担当教員	下村真理子
目 標	音声教材を用いて、一定の長さの説明文や解説文の聞き取り能力を養うとともに、総合的な日本語能力を高める。
内 容	<p>1) トピックに関するCDを聞いて、内容を理解する。</p> <p>2) 内容について話し合ったり、要約文をかいたりする。</p> <p>第1回オリエンテーション、ことばの意味、由来を聞き取る</p> <p>第2回クイズの内容と答えを聞き取る、心理や行動パターンを聞き取る</p> <p>第3回情報を整理しながら聞き取る、エピソードの要点を聞き取る</p> <p>第4回問題の対処方法を聞き取る、昔話のあらすじを聞き取る</p> <p>第5回物の仕組みを聞き取る、プロフィールから人物像を聞き取る</p> <p>第6回グラフを参照しながら説明を聞き取る、物の特徴や用途を聞き取る</p> <p>第7回方法・数値の意味を聞き取る</p> <p>第8回総復習、試験</p>
テキスト	「新毎日の聞き取り50日 上」(凡人社)
成績評価	授業への参加態度と小テスト15% 試験70% 宿題15%

授業科目	Intermediate Japanese E-2
担当教員	下村真理子
目 標	音声教材を用いて、一定の長さの説明文や解説文の聞き取り能力を養うとともに、総合的な日本語能力を高める。
内 容	<p>1) トピックに関するCDを聞いて、内容を理解する。</p> <p>2) 内容について話し合ったり、要約文をかいたりする。</p> <p>第1回物の仕組みを聞き取る、物の特徴とエピソードを聞き取る</p> <p>第2回プロフィールから人物像を聞き取る、出来事の順序を聞き取る</p> <p>第3回物の変化とその理由を聞き取る、活動の目的やメリットを聞き取る</p> <p>第4回物の特徴について聞き取る、図を参照しながら仕組みを聞き取る</p> <p>第5回区別・分類を聞き取る、図を参照しながら数値を聞き取る</p> <p>第6回問題提起と解決までの流れを聞き取る</p> <p>第7回プロジェクトの目的と内容を聞き取る</p> <p>第8回総復習、試験</p>
テキスト	「新毎日の聞き取り50日 下」(凡人社)
成績評価	授業への参加態度と小テスト15% 試験70% 宿題15%

授業科目	Intermediate Japanese F-1
担当教員	山中康子
目 標	連語の学習によって、ことばのつながり、慣用表現など、中級程度の多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。
内 容	<p>1) 語の基本的な意味を確認する</p> <p>2) ドリルを通して、使い方を学ぶ</p> <p>3) 本文読解・会話・タスクに取り組み、運用力を伸ばす</p> <p>第1回オリエンテーション、お金に関することば</p> <p>第2回学習(1)大学生活に関することば</p> <p>第3回学習(2)研究・発表に関することば</p> <p>第4回日常生活(1)1日の行動に関することば</p> <p>第5回日常生活(2)トラブルに関することばなど</p> <p>第6回交通機関に関することば</p> <p>第7回付き合いに関することば</p> <p>第8回総復習、期末テスト</p>
テキスト	『ペアで覚えるいろいろなことば 初・中級学習者のための連語の整理』（武蔵野書院）
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題 10%

授業科目	Intermediate Japanese F-2
担当教員	山中康子
目 標	連語の学習によって、ことばのつながり、慣用表現など、中級程度の多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。
内 容	<p>1) 語の基本的な意味を確認する</p> <p>2) ドリルを通して、使い方を学ぶ</p> <p>3) 本文読解・会話・タスクに取り組み、運用力を伸ばす</p> <p>第1回オリエンテーション、付き合いに関することば</p> <p>第2回手続き（旅行）に関することば</p> <p>第3回自然に関することば 第4回健康に関することば</p> <p>第5回余暇に関することば 第6回機械操作に関することば</p> <p>第7回運転に関することば 第8回総復習、期末テスト</p>
テキスト	『ペアで覚えるいろいろなことば 初・中級学習者のための連語の整理』（武蔵野書院）
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題 10%

・ レベル 4

授業科目	Upper-Intermediate Japanese A-1
担当教員	田村泰男・柳本大地
目 標	中上級レベルの文法・語彙・表現の定着を図るとともに長文読解能力を養成する。
内 容	<p>トピックに基づいて書かれた日本語中級学習者用の読解教材を読み進みながら、中級レベルの文型・語彙・表現を学習する。授業では、特に次の語彙・表現の解説を行う。</p> <p>第1回オリエンテーション、日本文化のキーワード、動詞の「て形／た形」の復習 第2回美化語、接続表現「～たり～たり」、終助詞「ね」「よ」「の」「な」、畳語、連体詞、「～のだ」 第3回複合動詞「～始める／～出す」、禁止表現、接続表現「～し～し」、形式名詞「こと」「の」 第4回副助詞「ほど」、「気」を使った慣用句、形式名詞「うち」「間(あいだ／ま)」、係助詞「しか」 第5回補助動詞「～てくる」「～ていく」、推量表現「ようだ」「そうだ」「らしい」、動詞「あふれる／こぼれる」 第6回授受表現(1)「やる／あげる／さしあげる」、比喻表現(直喩／隠喩／擬人法) 第7回授受表現(2)「くれる／くださる」、副詞「つい／うっかりして」「あまり／なかなか」 第8回中間テスト 第9回授受表現(3)「もらう／いただく」、「助数詞＋は／助数詞＋も」、接頭語「大／小」 第10回副助詞「ばかり／だけ」、国字、接続表現「～とか～とか」、接尾語「～中」、自動詞 第11回難易表現「～やすい／～いい」「～にくい／～がたい」、形式名詞「もの」「つもり」 副助詞「まで」、複合助詞「～によって」、副詞「せっかく／わざわざ」 第12回副助詞「でも」、「～と同時に」、副詞「もっと／さらに」、複合動詞「～込む」、「～ようがない」 第13回複合助詞「～にとって／～に対して」、副詞「とうとう／ついに」、否定表現「～ずじまい」 第14回形式名詞「ところ」、「～用／～向き／～向け」、使役受身、接尾語「先」、形式名詞「はず」 第15回条件表現「ば／と／たら／なら」、接続詞「ところで／さて」、複合助詞「～として」 第16回 期末テスト</p>
テキスト	「テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版」(研究社)
成績評価	発表・討論への参加20%、試験60%、宿題20%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese A-2
担当教員	田村泰男・柳本大地
目 標	中上級レベルの文法・語彙・表現の定着を図るとともに長文読解能力を養成する。
内 容	<p>トピックに基づいて書かれた日本語中級学習者用の読解教材を読み進みながら、中級レベルの文型・語彙・表現を学習する。授業では、特に次の語彙・表現の解説を行う。</p> <p>第1回オリエンテーション、意志表現「～よう(と)」、複合助詞「～につれて」、副詞「かえって／むしろ」、形式名詞「わけ」</p> <p>第2回心情・嗅覚・味覚を表す擬態語、感情の強調表現「～ことに」、複合動詞「～かける」</p> <p>第3回否定の助動詞「ざる／ず／ぬ」、接続表現「～にしる～にしる」、形式名詞「上」(1)、「通り」</p> <p>第4回副助詞「さえ」、接続助詞「つつ」(1)、複合動詞「～分ける」、「～というもの」「～代わりに」</p> <p>第5回複合助詞「～によって」、形式名詞「まま」、助動詞「べき」、「～とする／される」</p> <p>第6回「音／声／味／におい／気／感じがする」、複合動詞「～切る」、名詞「きっかけ」</p> <p>第7回接尾語「まみれ／だらけ」「がてら」「がかり」、「余り／足らず」、副詞「ようやく／やっと」</p> <p>第8回接続助詞「つつ」(2)、形式名詞「上」(2)、複合助詞「～とともに」、接尾語「外れ」「次第」</p> <p>第9回中間テスト</p> <p>第10回接続表現「～にもかかわらず」、副詞「さすが／やはり」、例示の表現「～をはじめ」</p> <p>第11回理由表現「～だけに」、接尾語「がち／ぎみ／～っぽい」、接続助詞「ては」</p> <p>第12回複合動詞「～がる」「～づける」、接尾語「なり」、推量表現「に違いない／はずだ」</p> <p>第13回動詞「直す／治す」「伸びる／延びる」、接尾語「きり」、形式名詞「ところ」、接尾語「化」</p> <p>第14回名詞「先／後」「前／元」、各種表現「～ようでは」「～わけにはいかない」「その一方で」</p> <p>第15回漢字の訓読み、各種表現「～たばかりに」「～て／でならない」「～としても」「～ないことには」</p> <p>第16回期末テスト</p>
テキスト	「テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版」(研究社)
成績評価	発表・討論への参加20%、試験60%、宿題20%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese B-1
担当教員	名塩征史 ・ 上村貴世子
目 標	身近なトピックにより、日本に対する理解を深めるとともに、多様な場面や状況を理解し、語彙を増やす。聞き取りだけでなく、多様な活動を通して、日本語の運用能力を伸ばす。
内 容	以下にあげる聞き取りに重点を置いて、各課の音声談話の内容をより速く正確に理解する練習を行う。 第1回オリエンテーション、話の構成を聞き取る 第2回話し手の主張を聞き取る 第3回導入部分に注目して聞き取る 第4回「まとめる言葉」を聞き取る 第5回キーワードを聞き取る 第6回定義を聞き取る 第7回情報を選択して聞き取る 第8回総復習、試験
テキスト	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 中上級』（スリーエーネットワーク）
成績評価	発表・討論への参加20% 試験30% 宿題30% 要旨の提出20%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese B-2
担当教員	名塩征史 ・ 上村貴世子
目 標	身近なトピックにより、日本に対する理解を深めるとともに、多様な場面や状況を理解し、語彙を増やす。聞き取りだけでなく、多様な活動を通して、日本語の運用能力を伸ばす。
内 容	以下にあげる聞き取りに重点を置いて、各課の音声談話の内容をより速く正確に理解する練習を行う。 第1回話の大意／概要を聞き取る 第2回話の構成を聞き取る 第3回縮約された表現を聞き取る 第4回特殊な発音を聞き取る 第5回わからない言葉を無視して聞き取る 第6回接続詞に注目して聞き取る 第7回「区切り」に注目して聞き取る 第8回総復習、試験
テキスト	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 中上級』
成績評価	発表・討論への参加20% 試験30% 宿題30% 要旨の提出20%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese C-1
担当教員	下村真理子・坂田光美
目 標	コロケーションの学習によって、ことばのつながり、慣用句など、多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。
内 容	1)基本義の確認をし、例文を分類する 2)用例を見て、使い方を学ぶ 3)関連する用法、語句を調べる 第1回オリエンテーション、体の言葉(1)「腹」を含む慣用表現 第2回体の言葉(2)「身」を含む慣用表現 第3回動詞(1)「書」「描」「搔」を含む慣用表現 第4回動詞(2)「返」を含む慣用表現 第5回動詞(3)「切」「斬」を含む慣用表現 第6回形容詞(1)「熱」「暑」を含む慣用表現 第7回形容詞(2)「重」を含む慣用表現 第8回総復習、期末テスト
テキスト	『コロケーションで増やす表現—ほんきの日本語—vol. 1』
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題10%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese C-2
担当教員	下村真理子・坂田光美
目 標	コロケーションの学習によって、ことばのつながり、慣用句など、多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。
内 容	1)基本義の確認をし、例文を分類する 2)用例を見て、使い方を学ぶ 3)関連する用法、語句を調べる 第1回オリエンテーション、体の言葉(1)「指」「刺」「挿」「差」を含む慣用表現 第2回体の言葉(2)「手」を含む慣用表現 第3回動詞(1)「取」「撮」「採」を含む慣用表現 第4回動詞(2)「引」を含む慣用表現 第5回動詞(3)「持」を含む慣用表現 第6回形容詞(1)「軽」を含む慣用表現 第7回形容詞(2)「寒」を含む慣用表現 第8回総復習、期末テスト
テキスト	『コロケーションで増やす表現—ほんきの日本語—vol. 1』
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題10%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese D-1
担当教員	田村泰男・柳本大地
目 標	中上級レベルの日本語の文型，語彙，表現の定着を図るとともに，読む力，話す力，書く力を養成する。
内 容	<p>トピックに基づいて書かれた日本語読解教材を読みながら，中上級レベルの文型，語彙，表現を学習する。授業では，特に，以下のトピックの読解に必要な語彙と，文型の表現を学習し，練習する。</p> <p>第1回 オリエンテーション、『色』文型「～という」「～に基づく～」 第2回 『色』文型「～と同時に」「～による」「～際」 第3回 『ユーモア・ジョーク』文型「～とする」「～にかけて」「～から～にかけて」 第4回 『ユーモア・ジョーク』文型「～さえ」「さえ～ない」「～なんて」 第5回 『ユーモア・ジョーク』文型「～ことで/ことによって」「～ように思われる」 第6回 『制服』文型「～を問わず」「～をめぐって」「～ところ」 第7回 『制服』文型「～ことなく」「～向き」「～向け」 第8回 中間テスト 第9回 『制服』文型「～における/～において」「～上」 第10回 『算数』文型「～に至る」「～から～に至るまで」「～うえで」 第11回 『算数』文型「～なり」「VタN」 第12回 『算数』文型「～という点」「～点」「～にかかわる」 第13回 『遊びと運動』文型「～をもたらす」「～に対して/～にとって」 第14回 『遊びと運動』文型「～ばかりでなく～も」「～を通して/～を通じて」 第15回 『遊びと運動』文型「接続詞の整理」 第16回 期末テスト</p>
テキスト	「中級を学ぼう 日本語の文型と表現82」スリーエーネットワーク
成績評価	発表・討論への参加20%、試験60%、宿題20%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese D-2
担当教員	田村泰男・柳本大地
目 標	中上級レベルの日本語の文型，語彙，表現の定着を図るとともに，読む力，話す力，書く力を養成する。
内 容	<p>トピックに基づいて書かれた日本語読解教材を読みながら，中上級レベルの文型，語彙，表現を学習する。授業では，特に，以下のトピックの読解に必要な語彙と，文型の表現を学習し，練習する。</p> <p>第1回オリエンテーション，『お金』文型「～ぶり」「～とはいえ/～と（は）いっても」「～あたり」 第2回『お金』文型「たとえ～も」「～やら，～やら」「～のやら」「～のやら」 第3回『水への関心』文型「～に関する」「～ない限り」「～限り」「～がち～」 第4回『水への関心』文型「～っぱなし」「～以上に」「～以上」 第5回『水への関心』文型「～抜きにしては～ない」「～抜きの～」 「～おかげで/せいで」 第6回『遺伝』文型「～にもかかわらず」「～につれて」「～に例えられる」 第7回『遺伝』文型「～に違いない」「～得ない」「～得る」 第8回中間テスト 第9回『遺伝』文型「あり得ない（驚き）」「得る（できる）」 第10回『漫画・アニメ・本』文型「～っぽい/っぽさ」「～とって（も）いい」 第11回『漫画・アニメ・本』文型「～にしても」「～つつ」「逆接」 第12回『漫画・アニメ・本』文型「副詞の整理」「～めく」 第13回『人と動物』文型「～かのように」「～結果」「～までになる」 第14回『人と動物』文型「～に比べて/～と比べて」 第15回『人と動物』文型「～のに対して/～のに対し」 第16回期末テスト</p>
テキスト	「中級を学ぼう 日本語の文型と表現82」スリーエーネットワーク
成績評価	発表・討論への参加20%、試験60%、宿題20%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese E-1
担当教員	名塩征史 ・ 上村貴世子
目 標	身近なトピックにより、日本に対する理解を深めるとともに、多様な場面や状況を理解し、語彙を増やす。聞き取りだけでなく、多様な活動を通して、日本語の運用能力を伸ばす。
内 容	<p>以下にあげる聞き取りに重点を置いて、各課の音声談話の内容をより速く正確に理解する練習を行う。</p> <p>第1回オリエンテーション、問題提起から解決案の提示までの流れを聞き取る</p> <p>第2回誘導・指示を聞き取る、出来事の順序を聞き取る</p> <p>第3回グラフを参照しながら数値を聞き取る</p> <p>第4回図に示された情報を参照しながら聞き取る</p> <p>第5回心理や行動の変化を聞き取る、グラフを参照しながら数値を聞き取る②</p> <p>第6回プロフィールから人物像を聞き取る</p> <p>第7回論理・因果関係を聞き取る、物事の由来を聞き取る</p> <p>第8回総復習、試験</p>
テキスト	『毎日の聞き取りplus40 下』（凡人社）
成績評価	発表・討論への参加15% 試験70% 宿題15%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese E-2
担当教員	名塩征史 ・ 上村貴世子
目 標	身近なトピックにより、日本に対する理解を深めるとともに、多様な場面や状況を理解し、語彙を増やす。聞き取りだけでなく、多様な活動を通して、日本語の運用能力を伸ばす。
内 容	<p>以下にあげる聞き取りに重点を置いて、各課の音声談話の内容をより速く正確に理解する練習を行う。</p> <p>第1回区別・分類を聞き取る</p> <p>第2回問題提起から解決までの流れを聞き取る、主張の要点を聞き取る</p> <p>第3回出来事とその背景の関係を聞き取る</p> <p>第4回活動の目的や内容を聞き取る、事情の説明を聞き取る</p> <p>第5回物語から教訓を聞き取る</p> <p>第6回因果関係を聞き取る、求められる条件を聞き取る</p> <p>第7回仕組みを聞き取る 第8回総復習、試験</p>
テキスト	『毎日の聞き取りplus40 下』（凡人社）
成績評価	発表・討論への参加15% 試験70% 宿題15%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese F-1
担当教員	下村真理子・坂田光美
目 標	コロケーションの学習によって、ことばのつながり、慣用句など、多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。
内 容	1) 語の基本的な意味を確認し、例文を分類する 2) 用例を見て、使い方を学ぶ 3) 関連する用法、語句を調べる 第1回オリエンテーション、体の言葉(1)「頭」を含む慣用表現 第2回体の言葉(2)「耳」を含む慣用表現 第3回動詞(1)「聞」「効」「利」を含む慣用表現 第4回動詞(2)「知」を含む慣用表現 第5回動詞(3)「分」を含む慣用表現 第6回形容詞(1)「良」を含む慣用表現 第7回形容詞(2)「厳」を含む慣用表現を学ぶ 第8回総復習、期末テスト
テキスト	『コロケーションで増やす表現—ほんきの日本語—vol. 1』(くろしお出版)
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題10%

授業科目	Upper-Intermediate Japanese F-2
担当教員	下村真理子・坂田光美
目 標	コロケーションの学習によって、ことばのつながり、慣用句など、多様な日本語表現に触れ、語彙力を高めるとともに、自然な日本語の運用力を伸ばす。
内 容	1) 語の基本的な意味を確認し、例文を分類する 2) 用例を見て、使い方を学ぶ 3) 関連する用法、語句を調べる 第1回オリエンテーション、体の言葉(1)「顔」を含む慣用表現 第2回体の言葉(2)「腰」を含む慣用表現 第3回動詞(1)「済」「澄」を含む慣用表現 第4回動詞(2)「乗」「載」を含む慣用表現 第5回動詞(3)「入」を含む慣用表現 第6回形容詞(1)「激」を含む慣用表現 第7回形容詞(2)「悪」を含む慣用表現 第8回総復習、期末テスト
テキスト	『コロケーションで増やす表現—ほんきの日本語—vol. 1』
成績評価	発表・討論への参加15% 試験60% 小テスト15% 宿題10%

・レベル5

授業科目	Advanced Japanese Listening A-1, A-2
担当教員	深見 兼孝
目 標	ラジオドラマの日本語を聞き取る力を養成する。
内 容	第1回導入。出会い(1) 第2回出会い(2) 第3回出会い(3) 第4回出会い(4) 第5回江夏(1) 第6回江夏(2) 第7回江夏(3) 第8回野球場(1)、中間テスト 第9回野球場(2) 第10回野球場(3) 第11回再会 第12回プレゼント(1) 第13回プレゼント(2) 第14回プレゼント(3) 第15回エピローグ、期末テスト
テキスト	『ラジオドラマCD博士の愛した数式』
成績評価	10回以上の出席を前提に、出席20%、テスト80%。

授業科目	Advanced Japanese Listening B-1, B-2
担当教員	深見 兼孝
目 標	ニュースの日本語を聞き取る力を養成する。
内 容	第1回導入、経済・金融(1)(2) 第2回経済・金融(3)(4)(5) 第3回経済・金融(6)(7)(8) 第4回経済・金融(9)(10)(11) 第5回経済・金融(12)(13)(14) 第6回経済・金融(15)(16)(17) 第7回政治・行政(1)(2)(3) 第8回政治・行政(4)、中間テスト 第9回政治・行政(5)(6)(7) 第10回政治・行政(8)(9)(10) 第11回社会・生活(1)(2)(3) 第12回社会・生活(4)(5)(6) 第13回社会・生活(7)(8)(9) 第14回社会・生活(10)(11)(12) 第15回社会生活(13)(14)、期末テスト
テキスト	『ニュースの日本語聴解50』
成績評価	10回以上の出席を前提に、出席20%、テスト80%。

授業科目	Advanced Japanese Analysis A-1, A-2
担当教員	中川 正弘
目 標	日本語で文章を書くことに慣れ、自分たち外国人の日本語を日本人の日本語と比較分析することで日本語の理解を深める。1タームは日本語への翻訳文、要約文が中心（3タームは報告文、説明文が中心）
内 容	<p>第1回外国人の日本語と日本人の日本語の違いについて</p> <p>第2回作文テーマ「自己紹介」／「春休みにしたこと」</p> <p>第3回作文テーマ「日本語についての質問」</p> <p>第4回作文テーマ「（Xを）なくした／（Xが）なくなった」</p> <p>第5回作文テーマ「日本人の使う外国語（英語／中国語／・・・）」</p> <p>第6回作文テーマ「こんな夢を見た」</p> <p>第7回作文テーマ「これはいけない」</p> <p>第8回作文テーマ「これは困った」</p> <p>第9回作文テーマ「わたしの好み」</p> <p>第10回作文テーマ「大学にしてもらいたいこと」</p> <p>第11回作文テーマ「今取り組んでいる研究／勉強」</p> <p>第12回作文テーマ「うらやましい」</p> <p>第13回作文テーマ「夏休みの予定」</p> <p>第14回作文テーマ「直された日本語についての質問」</p> <p>第15回作文テーマ「(自由)」</p> <p>第16回期末テスト</p>
テキスト	プリントを配布する。
成績評価	討論への参加30%、宿題作文30%、試験40%

授業科目	Advanced Japanese Analysis B-1, B-2
担当教員	中川 正弘
目 標	日本語で文章を書くことに慣れ、自分たち外国人の日本語を日本人の日本語と比較分析することで日本語の理解を深める。1タームは日本語への翻訳文、要約文が中心（3タームは報告文、説明文が中心）
内 容	<p>第1回外国人の日本語と日本人の日本語の違いについて</p> <p>第2回作文テーマ「自己紹介」／「夏休みにしたこと」</p> <p>第3回作文テーマ「日本語についての質問」</p> <p>第4回作文テーマ「日本語への翻訳」</p> <p>第5回作文テーマ「今心配なこと」</p> <p>第6回作文テーマ「最近手に入れたもの」</p> <p>第7回作文テーマ「不思議だ」</p> <p>第8回作文テーマ「しまった！」</p> <p>第9回作文テーマ「研究テーマ／好きな勉強」</p> <p>第10回作文テーマ「楽しみにしている」</p> <p>第11回作文テーマ「夢中」</p> <p>第12回作文テーマ「驚いたニュース」</p> <p>第13回作文テーマ「馬鹿馬鹿しい」</p> <p>第14回作文テーマ「直された日本語についての質問」</p> <p>第15回作文テーマ「(自由)」</p> <p>第16回期末テスト</p>
テキスト	プリントを配布する。
成績評価	討論への参加30%、宿題作文30%、試験40%

授業科目	Academic Writing A-1, A-2
担当教員	柳本 大地
目 標	日本語で論文を書くために必要な知識・文法・語彙を学び、書く能力を養成する。 研究活動を始め、論文を書くための知識を養う。
内 容	<p>授業内容を理解し、論文を書く上で必要な知識を学習する。また、自らが研究を行う上で必要な知識を養成する。授業内では、文法や使用語彙についての説明を行い、様々な分野の書き言葉を練習する。また、教材の内容の理解を深め、実際に研究活動に取り組みながら、学習する。</p> <p>第1回オリエンテーション、研究を始める前に 第2回アカデミックライティング<自己分析> 第3回テーマの決定について 第4回アカデミックライティング<書き言葉に統一する> 第5回資料収集について 第6回アカデミックライティング<「こと」の「の」を使い分ける> 第7回研究の大枠を決める 第8回中間テスト 第9回アカデミックライティング<文をシンプルにする> 第10回情報の整理について 第11回アカデミックライティング<語彙を適切に選択する> 第12回研究課題の決定について 第13回アカデミックライティング<首尾一貫させる> 第14回レポートの執筆について 第15回アカデミックライティング<形が似ている表現を使い分ける> 第16回期末テスト</p>
テキスト	「レポート・論文を書くための日本語文法」くろしお出版
成績評価	出席態度20% 発表・討論への参加30% 試験30% 宿題20%

授業科目	Academic Writing B-1, B-2
担当教員	柳本 大地
目 標	日本語で論文を書くために必要な知識・文法・語彙を学び、書く能力を養成する。 研究活動を始め、論文を書くための知識を養う。
内 容	<p>授業内容を理解し、論文を書く上で必要な知識を学習する。また、自らが研究を行う上で必要な知識を養成する。授業内では、文法や使用語彙についての説明を行い、様々な分野の書き言葉を練習する。また、教材の内容の理解を深め、実際に研究活動に取り組みながら、学習する。</p> <p>第1回オリエンテーション、章立て 第2回アカデミックライティング<「は」と「が」を使い分ける> 第3回本論の書き方 第4回アカデミックライティング<書き手の視点を示す> 第5回引用の仕方 第6回アカデミックライティング<過去と現在のつながりを示す> 第7回図表の提示の仕方 第8回中間テスト 第9回アカデミックライティング<文章の中の語を指し示す> 第10回論文の形式について 第11回アカデミックライティング<前後の関係を表す> 第12回結論の書き方 第13回アカデミックライティング<前の文に関係づける> 第14回引用文献のまとめ方 第15回アカデミックライティング<効果的に意見を述べる> 第16回期末テスト</p>
テキスト	「レポート・論文を書くための日本語文法」くろしお出版 プリント教材を配布
成績評価	出席態度20% 発表・討論への参加30% 試験30% 宿題20%

授業科目	Advanced Japanese Vocabulary A-1, A-2
担当教員	田村 泰男
目 標	常用漢字に採択されている漢字の訓読みや慣用句、擬音語・擬態語を学習することによって、より自然な日本語表現能力の習得を目指す。
内 容	<p>第1回漢字の訓読み（１）、各種比喩表現</p> <p>第2回漢字の訓読み（２）、身体語彙を使った慣用句（１）</p> <p>第3回漢字の訓読み（３）、身体語彙を使った慣用句（２）</p> <p>第4回漢字の訓読み（４）、身体語彙を使った慣用句（３）</p> <p>第5回漢字の訓読み（５）、動植物の語彙を使った慣用句（１）</p> <p>第6回漢字の訓読み（６）、動植物の語彙を使った慣用句（２）</p> <p>第7回漢字の訓読み（７）、動植物の語彙を使った慣用句（３）</p> <p>第8回中間テスト</p> <p>第9回新常用漢字（１）、各種慣用表現（１）</p> <p>第10回新常用漢字（２）、各種慣用表現（２）</p> <p>第11回新常用漢字（３）、各種慣用表現（３）</p> <p>第12回新常用漢字（４）、擬音語・擬態語（１）</p> <p>第13回新常用漢字（５）、擬音語・擬態語（２）</p> <p>第14回新常用漢字（６）、擬音語・擬態語（３）</p> <p>第15回新常用漢字（７）、擬音語・擬態語（４）</p> <p>第16回期末テスト</p>
テキスト	プリントを配布する。
成績評価	発表・討論への参加20% 試験80%

授業科目	Advanced Japanese Vocabulary B-1, B-2
担当教員	田村 泰男
目 標	慣用的な読み方をする漢字や類義語、接頭辞・接尾辞などを学習することによって、日本語での表現能力を高めるとともに、各種類意表現のもつ意味上の微妙な違いについての理解をはかる。
内 容	第1回熟語訓（1）、類義語（1）－副詞 第2回熟語訓（2）、類義語（2）－副詞 第3回熟語訓（3）、類義語（3）－形容詞・形容動詞 第4回熟語訓（4）、類義語（4）－接続詞 第5回熟語訓（5）、類意表現（1） 第6回熟語訓（6）、類意表現（2） 第7回熟語訓（7）、類意表現（3） 第8回中間テスト 第9回熟語訓（8）、複合動詞（1） 第10回複数の訓読みを持つ漢字（1）、複合動詞（2） 第11回複数の訓読みを持つ漢字（2）、接頭辞・接尾辞（1） 第12回複数の訓読みを持つ漢字（3）、接頭辞・接尾辞（2） 第13回畳語形容詞・畳語副詞、接頭辞・接尾辞（3） 第14回同形異音語（1）、複合名詞・複合形容詞（1） 第15回同形異音語（2）、複合名詞・複合形容詞（2） 第16回期末テスト
テキスト	プリントを配布する。
成績評価	発表・討論への参加20% 試験80%

授業科目	Advanced Japanese Cinema A-1, A-2
担当教員	石原 淳也
目 標	短いドラマ「野田ともうします」を見ていく中で、1)日本語の音声に関する解説および聞き取り練習を行うこと、2)セリフに出てくる語の用法・意味の解説、出演者の動作・振る舞いなどを意識することを通じて語彙を増やすこと、3)出演者がなぜそのように振る舞うかということを通じて日本人の文化、考え方を理解すること、4)扱われるエピソードを通じて日本の社会・文化を知ること为目标とする。
内 容	<p>第1回授業の進め方についての説明</p> <p>第2回エピソード1「野田さんのガールズトーク」視聴、問題実施</p> <p>第3回エピソード1「野田さんのガールズトーク」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第4回エピソード2「私達は期待していく」視聴、問題実施</p> <p>第5回エピソード2「私達は期待していく」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第6回エピソード3「喫煙席発 過去行」視聴、問題実施</p> <p>第7回エピソード3「喫煙席発 過去行」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第8回ディスカッション</p> <p>第9回エピソード4「野田の名前」視聴、問題実施</p> <p>第10回エピソード4「野田の名前」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第11回エピソード5「女が男に会う時・・・」視聴、問題実施</p> <p>第12回エピソード5「女が男に会う時・・・」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第13回ディスカッション</p> <p>第14回エピソード6「男と女のラブゲーム」視聴、問題実施</p> <p>第15回エピソード6「男と女のラブゲーム」語彙・文法・音声の解説</p> <p>第16回ディスカッション</p>
テキスト	語彙ハンドアウトを配布。テキストは使用しない。
成績評価	授業への積極的参加・貢献20% 授業中に実施する問題30% 期末レポート50%

授業科目	Advanced Japanese Cinema B-1, B-2
担当教員	石原 淳也
目 標	短いアニメ「天体戦士サンレッド」を見ていく中で、1)日本語の音声に関する解説および聞き取り練習を行うこと、2)セリフに出てくる語の用法・意味の解説、出演者の動作・振る舞いなどを意識することを通じて語彙を増やすこと、3)出演者がなぜそのように振る舞うかということを通じて日本人の文化、考え方を理解すること、4)扱われるエピソードを通じて日本の社会・文化を知ること为目标とする。
内 容	<p>第1回授業の進め方についての説明</p> <p>第2回エピソード1「出撃！サンレッド」視聴、問題実施</p> <p>第3回エピソード1 「出撃！サンレッド」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第4回エピソード2 「じごくの宮本むさし作戦」問題実施</p> <p>第5回エピソード2 「じごくの宮本むさし作戦」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第6回エピソード3 「炸裂!?ツインデスアタック」視聴、問題実施</p> <p>第7回エピソード3 「炸裂!?ツインデスアタック」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第8回ディスカッション</p> <p>第9回エピソード4 「フロシャイム恐怖の潜入作戦」視聴、問題実施</p> <p>第10回エピソード4 「フロシャイム恐怖の潜入作戦」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第11回エピソード5 「ウサコッツ戦慄の秘密!？」視聴、問題実施</p> <p>第12回エピソード5 「ウサコッツ戦慄の秘密!？」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第13回ディスカッション</p> <p>第14回エピソード6 「恐怖!フロシャイム作戦第一号」視聴、問題実施</p> <p>第15回エピソード6 「恐怖!フロシャイム作戦第一号」視聴、語彙・文法・音声の解説</p> <p>第16回ディスカッション</p>
テキスト	語彙ハンドアウトを配布。テキストは使用しない。
成績評価	授業への積極的参加・貢献20% 授業中に実施する問題30% 期末レポート50%

授業科目	Business Japanese A-1, A-2
担当教員	千馬 智子
目 標	職場のコミュニケーションにおける日本語を学び、場面に適切な表現の運用力を養成する。 ケーススタディを通して、異文化間コミュニケーションにおける注意点に目を向ける。
内 容	第1回自己紹介 ケーススタディ（異文化理解） 第2回自己紹介ロールプレイ 名刺交換 第3回あいさつのいろいろ ケーススタディ 第4回あいさつロールプレイ おじぎ 第5回電話の応対 伝言 第6回電話の応対ロールプレイ 第7回謝罪する 謝罪のストラテジー 第8回中間試験 第9回依頼する 依頼のストラテジー 第10回依頼ロールプレイとメール 第11回許可を求める ケーススタディ 第12回許可をもとめるロールプレイ 第13回アポイントを取る 第14回アポイントを取るロールプレイ 第15回訪問する ケーススタディ 第16回期末試験
テキスト	ビジネス日本語マスターテキスト（IBCパブリッシング） にほんごで働く！ビジネス日本語30時間（スリーエーネットワーク） ビジネスコミュニケーションのためのケース学習（ココ出版）など プリント配布
成績評価	教室活動への参加30% 復習クイズ30% 試験40%

授業科目	Business Japanese B-1, B-2
担当教員	吉野 邦美
目 標	職場のコミュニケーションにおける日本語を学び、場面に適切な表現の運用力を養成する。
内 容	<p>第1回ビジネスに必要な敬語表現</p> <p>第2回第1課 自己紹介（社内）</p> <p>第3回第1課 自己紹介（社外）</p> <p>第4回第2課 電話を受ける（担当者に取り次ぐ）</p> <p>第5回につぼんのカイシャ（1）</p> <p>第6回第2課 電話を受ける（伝言を受ける）</p> <p>第7回中間試験</p> <p>第8回第3課 アポイントを取る</p> <p>第9回第3課 アポイントを変更する</p> <p>第10回につぼんのカイシャ（2）</p> <p>第11回第4課 アポイントメントを取る</p> <p>第12回第5課 会議に参加する</p> <p>第13回第6課 クレームを受ける</p> <p>第14回につぼんのカイシャ（3）</p> <p>第15回第7課 クレームを報告する</p> <p>第16回期末試験</p>
テキスト	『上級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語-グローバル企業でのキャリア構築をめざして』村野節子・山辺真理子・向山陽子著（スリーエーネットワーク）
成績評価	課題20%・中間期末試験80%

第34期 (2018 - 2019) 日本語・日本文化研修プログラム

石原淳也

<プログラム概要>

本プログラムは、森戸国際高等教育学院（2010年に旧留学生センターから国際センターへ、その後2018年に森戸国際高等教育学院へ改組）で受け入れる大使館推薦による「日本語・日本文化研修プログラム」研修留学生を中心に、大学間協定に基づき教育学部で受け入れられている「日本語・日本文化研修プログラム」研修留学生を対象に加え、森戸国際高等教育学院の四人の教員からなる「日本語・日本文化研修プログラム実施委員会」により運営されており、(1) 全学の留学生向けの「日本語・日本事情」で開設されているクラスから選択履修する「日本語研修」、(2) 学内、学外の講師による特別講義および文化施設・文化財等の見学などからなる「日本語・日本文化特別研究 I, II」、そして (3) 指導教員のもとでの「個別指導および課題研究」の三つの内容により構成されている。

研修生は「個別指導および課題研究」での研究経過を「日本語・日本文化特別研究 I, II」の時間中に構想発表および中間発表として発表するとともに、修了式の前に行われる研修成果発表会においてその研究の成果を発表し、指導教員と森戸国際高等教育学院にレポートを提出する。森戸国際高等教育学院では毎年これらをまとめて研修レポート集として刊行している。

2019年3月に中川正弘教授が停年退職されたため、2019年前期からは、2018年10月に着任した名塩征史講師が日本語・日本文化研修プログラム実施委員会のメンバーとなった。

<受け入れ学生の概要>

第34期は森戸国際高等教育学院受け入れのインド、中国、スウェーデン、ポーランドからの学生それぞれ1名、部局間協定に基づく総合科学部受け入れのセルビアからの学生が1名の計5名でプログラムを実施した。

<特別講義等>

2018年度(第34期)に実施した日本語・日本文化特別研究、および、その他の行事は、以下の通りである。

		(担当者)
10月		
5日	開講式 オリエンテーション	中川
19日	広島見学1(広島城・平和公園)	石原
26日	特別講義「音声学」	石原
11月		
2日	特別講義「日本語と文体 I」	中川
11日	ホームステイ協会そば打ち(広島市留学生会館)	中川
16日	特別講義「現代日本語の語彙 I」	田村
30日	広島見学2(現代美術館/放射線影響研究所)	中川・石原
12月		
7日	宮島見学	石原
14日	特別講義「俳句入門」	浮田
21日	マツダ見学	石原
1月		
11日	特別講義「現代日本語の語彙 II」	田村
18日	特別講義「グローバル社会における日本の大学と地域」	恒松
2月		
1日	特別講義「インド仏教と日本文化」	本田
3月		
27-28日	瀬戸内海しまなみ研修ツアー	石原・チャン
4月		
12日	オリエンテーション	石原・名塩
19日	特別講義「広島歴史と平和」	小宮山
26日	研修レポート構想発表	石原・名塩
5月		
10日	特別講義「日常に潜在する記号」	名塩
17日	特別講義「日本文学」	フェレイロ
24日	サタケ見学	石原・名塩
31日	尾道見学	石原・名塩
6月		
7日	特別講義「日本語教育」	石原
21日	呉見学(大和ミュージアム、下蒲刈)	石原・名塩

7月

5日	研修レポート中間発表	石原・名塩
12日	特別講義「古事記と出雲神話」	石原
19日	特別講義「認知心理学と日本語学習」	柳本
26-27日	松江・出雲見学旅行	石原・名塩

9月

6日	研修成果発表会、修了式	
----	-------------	--

第20期 令和1年度（2019年度） 日韓共同理工系学部留学生事業入学前予備教育

石原淳也

平成10年10月の「日韓共同宣言」、平成12年8月に文部省より通知のあった「日韓共同理工系学部留学生事業実施要項」、同年8月に決定された「広島大学日韓理工系学部留学生事業」実施要項および「広島大学日韓理工系学部留学生事業」入学前予備教育実施要項に基づき、平成12年11月より広島大学においても学部入学前予備教育生に対する「広島大学日韓理工系学部留学生事業」の予備教育が開始された。以来、平成15年度まで各5名ずつ、平成16年度2名、17年度5名、18年度4名、19年度、20年度は5名、21年度2名、22年度5名、23年度5名、24年度は6名と、途切れることなく学部入学前予備教育生を受け入れ、25、26、27、28年度が7名、29年度は6名、30年度そして今年、令和1年度は再び7名を受け入れることとなった。今年度は1名が情報科学部、2名が理学部、4名が工学部への進学を予定している。

旧留学生センターは同事業の立ち上げ段階である平成12年6月の「広島大学日韓共同理工系学部留学生事業」ワーキンググループの発足段階から同事業の予備教育実施機関として中心的な役割を果たしてきた。法人化による国際交流委員会の廃止で、平成16年度より21年度まで「広島大学日韓理工系学部留学生事業」実施部会は留学生センター運営委員会のもとに組織されてきたが、22年度からは、旧留学生センターの改組に伴い、留学生センター運営委員会が廃止されたため、「広島大学日韓理工系学部留学生事業」実施部会は国際センター長を部会長として国際センターの下に組織されていた。平成30年度、後期より国際センターは森戸国際高等教育学院へと改組されたが、メンバーの入れ替えはあったものの、実施部会の体制は29年度のまま維持された。今年、令和1年度は本事業の最終年度となったが、実施部会は日韓サブワーキンググループとなり、本森戸国際高等教育学院からは石原淳也准教授が同サブワーキンググループ座長として引き続き参加している。

本事業において森戸国際高等教育学院は、旧国際センターの機能をそのまま引き継ぎ、

1. 「広島大学日韓共同理工系学部留学生事業」実施部会への参加
2. 「広島大学日韓共同理工系学部留学生事業」予備教育の実施
3. 学部入学前予備教育生に対する修学上・生活上の指導・助言
4. 「広島大学日韓共同理工系学部留学生事業」予備教育の計画策定

5. 見学引率
6. 日本語教育謝金講師の指導・サポート
7. その他謝金講師のサポート
8. 学生チューターの指導

等の業務を行っている。

【本学で実施する予備教育について】

・日本語科目

平成15年度までは、入学前予備教育において、日韓共同理工系学部留学生用に特別の日本語教育を実施していたが、平成16年度からは全学の留学生に向け開講されている「日本語・日本事情」を履修させることとなった。また、学生の日本語能力に合わせ、レベル3、4を履修させていたが、半年後の4月からは日本人に交じって、日本語で全ての授業を受けねばならない状況を考慮し、22年度からはレベル4、5を履修させることとなった。しかしながら、レベル4で使用されている教科書が、韓国国内で行われている予備教育の前半課程において開講されている一部の日本語の授業で使われていることから、25年度より、全学向けのレベル4の授業の代わりに、本予備教育生のためだけにレベル4相当の授業を二コマ15週にわたって開講することとなった。なお、従来より、学生の日本語能力の差にきめ細かく目配りできるよう、本予備教育生のみを対象とした日本語会話、日本語作文、日韓文化論を各1コマ開設している。

・専門科目

本学では第一期から、日本語とともに、数学、物理、化学に加え、学生が生物系に進学する可能性がある場合は生物も含めた理系科目を開設している。以前は、大学院生を講師に、大学入試レベルの問題演習を通して、入学後、日本語で実施される授業に十分ついて行けるだけの基本的な学力、授業を理解するのに最低限必要な日本語力を身につけさせるというものであったが、23年度からは、広島大学マスターズという広大を退職された先生方の団体に講師を依頼することになり、授業内容も従来からの問題演習中心のものではなく、大学入学後、教養教育で行われる授業の基本的な内容を先取りし、講義の形で行うものとなっている。

また、英語に関しては外国語教育センターの全学向け「英語研修プログラム」から自分にあったものを選び、一コマ受講するようになっている。

なお、本年度における時間割、行事は次ページの通り。

時間割

第3ターム

	月	火	水	木	金
1					日本語会話 坂田
2	化学 谷本・平田	日本語中級 A 尾形	数学 今岡	日本語中級 B 杉本	日韓比較文化論 坂田
3					日本語作文 坂田
4	物理 渡辺	日本語分析 特別演習 B 中川	生物 渡辺・設楽・ 榊井	日本語分析 特別演習 B 中川	
5	英語（各学生希望授業を外国語教育研究センターで週1日受講）				

第4ターム

	月	火	水	木	金
1					日本語会話 坂田
2	化学 谷本・平田	日本語中級 A 尾形	数学 今岡	日本語中級 B 杉本	日韓比較文化論 坂田
3	日本語上級 映像 B 石原	日本語上級 聴解 B 深見	日本語上級 映像 B 石原	物理 松尾	日本語作文 坂田
4			生物 渡辺・設楽・ 榊井	日本語上級 聴解 B 深見	
5	英語（各学生希望授業を外国語教育研究センターで週1日受講）				

行事

	期間	行事等	見学(金曜)	備考
W 0	9/29-10/5	1(火)渡日 2(水)授業開始 3(木)オリエンテーション 4(金)開講式		
W 1	10/6-10/12		終日 広島見学(広島城・平和公園)	
W 2	10/13-10/19	14 体育の日		
W 3	10/20-10/26	22 即位礼		
W 4	10/27-11/2			
W 5	11/3-11/9	3 文化の日 4 振替休日		
W 6	11/10-11/16			
W 7	11/17-11/23	23 勤労感謝の日		
W 8	11/24-11/30		終日 宮島見学	
W 9	12/1-12/7			
W 10	12/8-12/14			
W 11	12/15-12/21		マツダ見学	
W 12	12/22-12/24			
		冬休み(12/26-1/4)		
W 13	1/5-1/11			
W 14	1/12-1/18	13 成人の日		
W 15	1/19-1/25			
W 16	1/26-2/1			
W 17	2/2-2/8			
W 18	2/9-2/15	11 建国記念日		
W 19		春休み(2/14-)		
	3月中下旬	修了式(中止)		

広島大学短期交換留学(HUSA)プログラム活動報告

恒松直美・堀田泰司

沿革

1993年に日米文化教育交流会議(The United States - Japan Conference on Cultural and Educational Interchange: 通称カルコン CULCON)が開催され日米間の学生交流の促進が謳われ、政府支援の下、1995□96年に8国立大学が短期学生交流プログラムを開始した。広島大学短期交換留学プログラム(Hiroshima University Study Abroad Program, 以下HUSAプログラム)は、その8国立大学の1つとして、1996年に開始され、これまで積極的に学生交流を促進してきた。よって、当初の本学の短期交換留学プログラムの目的は、米国の高等教育機関との交流を中心とするものであった。しかし、プログラムは徐々に拡大し、現在は、世界中に点在する協定大学96大学及び2コンソーシアム(University Studies Abroad Consortium, USAC及びUniversity Mobility in Asia and the Pacific, UMAP, アジア太平洋大学交流機構)と交流を行っており、交換留学生受入れ・派遣留学を通して学生に異文化を体験させるだけでなく、留学しない本学のキャンパスで学習する学生に対しても異文化交流の機会を提供し、より多くの学生に国際教育の場を提供している。

教育内容としては、世界中の留学生が本学で学べるように各学部で英語科目を開講し、より質の高い教育を提供するよう努力している。近年では、留学生に対し、新しく学生主導型で進める「グローバル・インターンシップ」を開講し、地域と協力して地域社会がグローバル社会に対応するための地域活性化の施策を地域行政と協同で取り組むことにより留学生が学術知を実践知として生かす場を構築してきた。また、「グローバル・リーダーシッププロジェクト: 大学と地域の協同」と題した実践研究グループプロジェクトにも挑戦し、留学生の自助支援や地域社会との連携を学生が自主的に取り組む挑戦も開始した。また、海外へ留学を希望する本学の在籍学生に対しては、説明会、留学フェア、文化交流会等の開催に加え、本学が積極的に参加している大学間コンソーシアムのINU(International Network of Universities)を活用した国際セミナーも開催している。

さらに、2000年より、コンソーシアム型学生交流の促進を目指しUMAP(University Mobility in Asia and Pacific)事業に参加し、留学した学生の単位互換をより公平、且つ正確に行うためUMAPが開発したUCTS(UMAP単位互換方式,UMAP Credit Transfer Scheme)を採用し、全協定大学に対する本学の教育プログラムの透明性と互換性を高めて

いる。現在は、UMAP が新たに開発した USCO (UMAP Student Connection Online) 事業にも積極的に参加し、アジア・太平洋諸国の学生交流促進に貢献している。

運営組織としては、HUSA プログラム開始当初から全学組織であり、各部局代表委員並びにその他委員により構成される短期留学交流部会が全体を統括し、交換留学生の選考、協定大学との調整・交渉、英語による国際教育プログラムの拡充等について検討してきた。現在、全学的な運営体制について検討されている。また、プログラムを直接、管理運営する組織としては、森戸国際高等教育学院の教員2名及び留学交流担当の職員がその主たる業務を担っている。

2020 年度は、新型コロナウイルスの影響により、全学的にオンラインによる授業の開講が積極的に推進された。広島大学で運用する ICT 機器を活用し、オンライン学習支援システム Bb9 や Microsoft TEAMS 等による遠隔授業やオンデマンド授業が導入され、授業が開講された。

1. 受け入れプログラムの概要

- ・ **受け入れ期間**：一学期または一学年
- ・ **募集人員**：約 100
- ・ **募集方法**：学生交流協定を締結している（締結する）各国の大学に対し募集要項を配布し、公募する
- ・ **応募資格**：
 - (1) 本学との間に学生交流協定を締結している大学の学生または学生交流について双方が合意した書簡がある大学の学生
 - (2) 学業成績が優秀で日本留学に熱意を持つ者
 - (3) 非英語圏から応募する学生にあっては英語又は日本語による授業を履修できるのに必要な英語力を持つ者
- ・ **選考方法**：短期留学交流部会において、協定大学の推薦・UMAP 学習計画書・プログラム参加目的を参考にし、書類選考を行う。
- ・ **学生の身分と受け入れ方法**：学部生は「特別聴講学生」、院生は「特別研究学生」又は「特別聴講学生」（広島大学学生交流規則）として受け入れる、受入れ手続きはグローバル化推進グループが取りまとめる。
- ・ **授業料等の不徴収**：交流協定に基づき、特別聴講学生として受け入れるので、授業料等を徴収しない（なお授業料については、協定において「相互不徴収」について合意する必要がある）。

- ・ **カリキュラム**：HUSA プログラム留学生は、英語及び日本語で開講される本学の科目を幅広く履修可能である。日本語授業は初級・中級・上級の 5 レベルがあり日本事情の科目も開講されている。日本語レベルが上級の学生は、各学部で正規学生用に開設されている授業を受講することができる。授業科目は各学部が開設しているものであり、その統括は各学部で実施されている。また、HUSA プログラム留学生向け「グローバル化支援インターンシップ」も開講し、ビジネスレベルの日本語を実践の場で生かす場も提供している。

- ◆ **受け入れ体制の整備**：（１）日本における様々な体験学習の場を提供する。（２）学生宿舎（日本人・留学生混在型）を用意する。（３）学生サポーターを事前に配置し、受け入れ開始と同時に留学生を支援する。（４）入国時身元保証人としては、各指導教官に依頼せず、機関保障（広島大学）とする。（５）本学が提供する教育の質を保証する活動の一環とし、UMAP の単位互換方式である UCTS を導入し、単位互換を促進する。

II. 2019-2020 年度 HUSA プログラム留学生受け入れ状況

2019-2020 年度は 51 名の留学生を受け入れた。そのうち 26 名が 2019 年度秋学期の 1 学期間参加し、25 名が 1 年間の滞在した。新型コロナウイルスの影響により、2020 年 2 月より早期帰国をした留学生は 10 名となった。

III. 2019-2020 年度 HUSA プログラム受け入れに関する業務及び活動内容

◆ 申請と選考

2019 年度募集要項は、2019 年 1 月に各協定大学へ送信され、3 月末に各大学から参加希望者が推薦された。推薦された学生について、4 月に本学の選考委員会によって HUSA プログラム参加者が正式に決定された。今年度も、受け入れ留学生の申請において、UMAP 学習計画書を申請書類の中に組み込み、選考や奨学金の推薦の参考資料とした。2004 年度の申請から、受け入れ留学生のオンライン登録システムを導入し、オンラインによる申請手続きと申請者のデータ管理の改善を図ってきている。

◆ 渡日前の情報の提供

渡日前のオリエンテーションと日本での生活の準備を兼ねて、広島大学及び留学生活に関する情報を網羅した英語版の「短期交換留学生用引き(Information for New

Students)」を改訂しプログラムホームページにて公開した。また、ホームページでHUSAプログラム、広島大学、日本での生活について詳細な情報を提供するとともに、「よくある質問」を掲載し、留学生がよく疑問に思う事項について説明した。学生の個人的な質問等には、電子メール等を活用し直接個々のケースに対応した。

◆ サポーターオリエンテーション

学生サポーターに対し、事前にオリエンテーションを行い、サポーターとしての全般的及び具体的な支援活動の内容について説明した。

◆ 見学・体験学習

2020年2月には、「グローバル・インターンシップ」を受講する留学生インターンが担当教員の指導のもと呉市倉橋町で開催される「倉橋フェスティバル」に参加し、地域行政の協力を得て国際交流企画に挑戦した。訪問者12,000人とされる商業祭において地域住民と留学生の交流の場を留学生の企画により実現する貴重な国際的体験学習の場となった。2019年度秋学期も、例年のように10月に呉市吉浦秋大祭見学ツアーを行い、日本文化の体験学習の機会を提供した。日本の地域に伝わる祭りの歴史と地域社会のしくみについて学ぶとともに来日直後の留学生間及び地域の人々との国際交流の場ともなっている。

◆ 授業科目の開設状況

これまで、短期プログラム用の開設科目として日本語と英語による科目が開講されてきたが、広島大学への留学生が増加する中、英語による全学の開設科目も増加してきた。現在は特化した開設科目の枠を超え、全学の英語による授業を受講可能なシステムへと移行しつつある。日本語科目も、短期交換留学プログラム用の特設科目として開講されてきた経緯があり、2003年度から初級・中級を特設科目とし、上級の科目は研修生や正規留学生及び研究生との合同による受講としてきた。現在は、広島大学への留学生が増加し日本語の受講者が増加する状況において、学部聴講生及び3+1プログラム留学生も合同で受講するしくみに移行している。

◆ 「グローバル・インターンシップ」

2003年度より春学期に「HUSA インターンシップ」コースを開設して以来、毎年インターンとして地域企業に2週間派遣してきた。2005年度よりインターンシップ派遣前に事前研修を開始し、インターンシップの準備体制を充実させてきた。2010年度前期より企業体験者を招聘して全学公開セミナーを開き、留学生が本学学生と共に国際的視野から将来を考える場を創出した。また、2010年度後期からは社会体験者講話に基づ

いた PBL（課題発見解決型学習法）による留学生と本学学生の協同学習も導入し、学生のグローバルな視野からのアクティブ・ラーニングの場を構築してきた。

2012 年度秋学期からは、「グローバル化支援インターンシップⅠ：キャリア理論と実践」・「グローバル化支援インターンシップⅡ：実習」と題して新しく「学生主導型」の交換留学生向けインターンシップの授業を開講した。「派遣型」から「学生主導型」へと新しくパラダイム転換を図った「グローバル化支援インターンシップ」では、留学生の持つ日本文化の観念的知識を地域と協働して地域社会で実践知として生かす国際的体験学習の場を構築している。留学生がリーダーシップを発揮しつつ自らマネジメントを行うプロジェクトは留学生に多角的な学びをもたらしている。2019 年度より「グローバル・インターンシップⅠ：キャリア理論と実践」・「グローバル・インターンシップⅡ：実習」と題して開講し、地域行政との連携をより強化し地域国際化を促進するプロジェクト型インターンシップを発展させている。



◆ 多国籍留学生による地域と協働する実践研究グループ・プロジェクト

2015 年度より「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト：大学と地域の協働」を実施し、多国籍チームを構成して地域と協働する実践プロジェクトに取り組んでいる。2015-2016 年度は「多文化共生への貢献」、2016-2017 年度は「自助支援」、2017-2018 年度は「ホームシック対策」、2018-2019 年度は「大学における異文化適応と再適応の支援」、2019-2020 年度は「留学生の自助支援～広島新発見～」をテーマとして取り組んだ。地域行政関係者、市議会、学内関係者、学校関係者の参加を得て地域公開の中間発表会・最終発表会を開催して協議する場を持ち、プロジェクトへのフィードバックを得た。「広島大学紹介ビデオ撮影に挑む1」、「HUSA 留学生おすすめリスト」、「留学準備・到着後ガイドブック」、など自助支援のプロジェクト成果の発表があった。留学生の各出身大学における留学のサポートシステムの発表は他大学の支援システムを学ぶことができた。セミナーでは、「カルチャーショックとは」、「体験学習・協同学習の意義」、「留学からの帰国準備：逆カルチャーショック」（恒松担当）などの異文化適応とプロジェクト学習の意義を理解するための講義も行った。

◆ オンラインによる「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト：大学と地域の協働」

新型コロナウイルス感染を防止するための施策が大学で講じられ、2020 年度春学期の授業は全面的に対面式からオンライン方式に移行した。多国籍留学生による実践プロジェクトである「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト：大学と地域の協働」(2019-2020 年度「留学生の自助支援～広島新発見～」)も3月からはオンラインによる実践へと移行した。中間発表会(2020 年 4 月開催)、最終発表会(2020 年 7 月開催)はすべてオンライン (Microsoft TEAMS) で開催し、毎年のように学内関係者、学内学生、地域行政関係者の参加を得、貴重なフィードバックを得た。「西条温泉ガイド」、「コロナ禍における留学生の生活」、「西条の中古店」、「西条での生活ガイド：食事制限」など留学生が完成したプロジェクトは、留学生の自助支援に役立てるべく、HUSAプログラムホームページに掲載してある。



◆ 文化交流支援活動

9 月に来日した直後に行う HUSA プログラム・オリエンテーションは 2006 年度より 2 日間に渡って行っており、本学で勉学するにあたっての心構えや事務手続きなど全般に渡る指導を行っている。異文化適応についての指導や日本文化理解のためのグループ・ワーク、クラブ紹介、HUSA プログラム参加留学生間の交流及び広島大学の学生との交流並びに先輩からのアドバイスも盛り込み、学生間の交流を促進し、本学での生活に早く慣れるよう企画した。また、留学生を支援するサポーターを、国際交流ボランティア、広島大学電子掲示板を通して募集し、国際交流に関心の高い学生を採用し、充実した支援の提供に努めている。

◆ 地域貢献

2003 年から 2006 年度まで、東広島商工会議所より、国際理解のための留学生の母国についての講話の依頼があり、フランス・韓国(2003)、アメリカ・カナダ・ギリシャ(2004)、ドイツ(2005)、タイ(2006)からの HUSA 留学生が商工会議所を訪問し、母国の文化・習慣や日本との相違について話す体験を持った。担当教員も、2011 年度に東広島商工会議所文化交流委員会において、「広島大学の国際化と産学連携：短期交換留学生インターンシップ」と題して講話を行った。2011 年度より「グローバル化支援インターンシップ」により地域の国際観光振興や多文化共生の地域づくりに貢献する留学生の国際的体験

学習の企画や、地域の小学校・中学校・高校における国際交流も企画した。2014年からは「グローバル・インターンシップ」として留学生が日本の地域社会と連携し協働する力を育成するプロジェクト型インターンシップを発展させてきている。広島県立日彰館高等学校による「日彰館高校グローバル人材育成プログラム」では、HUSAプログラム留学生が2014年度より「おもてなしホームステイ」に参加し、おもてなしプラン「国際交流行事」（恒松担当）では、2015年度より、留学生によるスピーチ発表や高校生・教職員・留学生の全員が参加する異文化インタラクションの場を構築している。

◆ HUSA 広報活動

HUSA ホームページにはプログラムの概要、申請方法、スタッフ紹介、HUSA に関するニュース、開講コース案内、インターンシップと産学連携、奨学金・寮・大学施設についての情報、国際交流行事案内、HUSA パンフレット、広島大学及び地域についての情報など、留学に関わる情報が網羅されている。サイトを常に更新し、HUSA プログラムについての最新情報を提供している。2014年5月にはHUSA フェイスブックを立ち上げ最新のニュース提供を行っている。また担当教員の研究ホームページにおいてHUSAプログラムの授業や国際教育・異文化間教育等の分野に関する研究の紹介をしている。

◆ HUSA プログラム評価

プログラムの改善に役立てるため、毎学期、HUSA プログラム全体評価、各コース評価を行っている。学生にアンケート用紙を配布、回収し、結果をまとめ、プログラムの改善に役立てている。アンケート調査結果は短期留学交流部会において報告し、改善のための示唆を得ている。

IV. 2019-2020 年度 HUSA プログラム派遣留学に関する活動

本学からの留学生派遣事業に関しては、本年度も2018年12月下旬に応募者の選考試験を行い、2019年1月上旬には短期留学交流部会で選考を行った。2-3月には、協定大学への申請手続きを行い、8月から10月に派遣した。また、オセアニアへは、2020年の2月に派遣した。フィンランド・アメリカに1月より1学期間の派遣も行った。以下は、派遣学生の募集と選考の概要である。

1. 制度の趣旨：

広島大学短期交換留学(派遣)プログラムは、本学の学部生・大学院生が在籍しつつ、学生交流協定に基づいて、海外の協定大学へ1学期または概ね1年間留学し、専門教育または外国語教育等を受けて単位を取得するものである。本学で単位互換することにより、海外に留学しても通常の修学年限内に卒業できることを目指した制度である。本プログラムは、1996

年後期から開始され、2020年3月現在、台湾、中国、香港、インド、インドネシア、大韓民国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、シンガポール、タイ、ブラジル、メキシコ、トルコ、カナダ、アメリカ合衆国、オーストラリア、ニュージーランド、オーストリア、リトアニア、フィンランド、フランス、ドイツ、オランダ、ロシア、スペイン、スウェーデン、ポーランド、英国、コロンビアにある96の協定大学から交換学生を受入れ、同時にそれらの大学へ、本学に在籍する学生を派遣している。また、海外の高等教育機関によって運営されているUSACやUMAP等のコンソーシアム型の学生交流に参加することで、本学からの派遣国並びに派遣対象大学は拡大し、過去においても本学が独自に協定を持たないガーナ、コスタリカ、イタリア、チリ等へも派遣している。さらに非営利団体である「あしなが育英会」とも協定を締結し、留学生を受け入れてきている。

2. 特徴：

- ・ **授業料不徴収**：本プログラムで留学する学生は、協定大学では授業料を支払う必要がない。
- ・ **奨学金**：日本学生支援機構による海外留学支援制度、並びに佐藤陽国際奨学財団海外派遣奨学制度等の奨学金が一部派遣学生に支給されている。
- ・ **単位互換制度**：全協定大学の単位制度に対し、UMAPのUCTSを活用することにより、公平、且つ正確な単位互換を行っている。また、UMAP学習計画書を実施することにより、派遣学生・指導教員・協定大学が、学生の履修計画並びに単位互換に関し、事前に相互に承諾を得ることができ、交換留学の実質的な活動を円滑に進めることができる。
- ・ **現地コーディネーターのアシスタント**：協定大学の国際室並びに関係部局における本学との交流事業をコーディネートする事務職員と連携し、派遣学生の留学生生活を支援している。
- ・ **短期交換留学生との留学前の交流及び留学後の現地での交流**：留学前に留学先から本学に留学している学生と交流会を持つことにより、現地での生活の状況、授業やクラブ活動等の学生生活に関する最新の情報等を得ることができる。また、留学後は、帰国した留学生と現地での交友関係を構築しやすい。

3. 出願書類

- ①派遣申請書
- ②留学計画書
- ③外国語検定試験の成績表

(英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語の検定試験については、それぞれの検定試験に一定の基準を設け評価している)

④学業成績証明書

4. 出願書類提出先及び締切り

グローバル化推進グループへ例年 11 月末頃までに提出する。

5. 面接（口述）試験

(ア) 学生から提出された申請書類の留学計画を基に例年 12 月の最終授業日の翌日に面接試験を行っている。試験は、広島大学 HUSA ワーキンググループの委員による 1 グループ 2～3 名程度の審査員によって実施される。審査員が学生の留学計画、異文化適応能力等についてそれぞれ 5 段階評価をつけ、その平均点を最終審査会の 1 つの評価指標としている。

6. 選考委員会の実施

(イ) 例年 1 月上旬に、広島大学短期留学交流プログラム部会において、派遣留学生の選考を実施している。主に学生の語学能力、面接試験結果、学業成績、留学志望校を考慮し、可能な限り多くの学生を推薦できるよう配慮し、選考及び推薦を行っている。

V. 2019-2020 年度 HUSA 留学生派遣事業の実績

2019 年度の短期交換留学生派遣に関しては、58 名を推薦し、アメリカ、カナダ、イギリス、スウェーデン、ドイツ、フィンランド、フランス、スペイン、韓国、インドネシア、フィリピン、ニュージーランド、中国、にある 37 の協定大学及びコンソーシアム・プログラムの USAC を通じてアメリカの大学へ、UMAP を通じてフィリピンの大学へ派遣した。派遣国は、欧米だけでなく、アジア諸国への派遣も拡大しているが、全協定大学との交流バランスでは受入れ超過傾向にあり、今後もアジアだけでなく欧州諸国への派遣留学も促進する必要がある。また、本学では、協定大学が開講する超短期（1 学期未満）プログラムへの留学も選考、派遣しており、2019 年度は、6 大学（韓国 2 校、ロシア 2 校、台湾 1 校、スウェーデン 1 校）へ合計 15 名を派遣した。派遣規模は、年々拡大しており、受入れ超過傾向にある協定大学への通常の 1 学期または 1 年間の派遣を含め、今後も継続して派遣を拡大していく計画である。

VI. HUSA 留学生派遣事業の活動状況

広報活動：2019 年度は、毎年 5-6 月に実施する留学ウィーク並びに説明会、そして担当教職員による交換留学に関するメールや面談による相談に加え、多くの一般学生が集うラウン

ジに留学情報コーナー及び留学アドバイザーによる留学相談デスクを設置した。その結果、協定大学の紹介や留学までの段階的な留学準備の仕方について興味のある学生は、いつでも情報収集し、留学相談できるようになった。

留学前の情報提供と留学計画の促進：例年、派遣が決定した本学の学生に対し2度（4月と7月）に渡るオリエンテーションを実施しており、留学に関する一般的な情報と共に、協定校から来ている留学生との交流の場を提供している。その学生間の交流は留学後も続き、協定校においても継続的な交流活動が行われている。また、留学前に指導教員及び学部と単位互換について確認する目的で、UMAP 学習計画書をオリエンテーションで配布し、留学前までに提出するよう要求している。

INU 特別協力講義：2019年度も、派遣留学を促進するため、すでに2006年より開講してきた INU 特別協力講義並びに集中講義を実施した。一般の教養科目として開講されている INU 特別協力講義は、INU ネットワークを利用し、アメリカの協定大学の教員によるビデオ講義を活用した WebCT 上で授業を展開するオンライン教育科目である。教育交流部門の教員がそのうちの1科目（特別講義と集中講義合わせて1セットの講義）を担当し、「アメリカの文化と社会」と題し、アメリカ人講師のビデオ講義を基に授業を行った。

VII. その他の主な活動

本学は、学外での活動としてアジア太平洋諸国の政府並びに高等教育機関によって運営されているUMAP（アジア太平洋学生交流機構）の学生交流促進事業に積極的に参加してきた。2013年5月には、本学の担当教員が、UMAPがこれまで活用してきたUCTS（UMAP単位互換制度）について、新たな概念（**Asian Academic Credits**, 以下**AACs**）の導入を提案し、国際理事会にて承認された。

AACs の概念とは、以下の通りである。

1 UCTS=38~48 学修時間数とする。また、その学修時間数には、13~16 時間の授業時間数 (academic hour)が含まれる。

ASEAN+3の13か国政府間で**AACs** の概念を活用したアジア地域の成績証明・単位互換の枠組の構築が2016年より検討を重ね、**AACs**は、2018年11月に開催されたASEAN3教育大臣会議において正式に承認された。**AACs**を新たなUCTSの基本理念として導入することにより、UMAP参加大学の多くの間では、1単位の価値は等価と見なすことができ、単位互換が簡素化され学生交流の促進が期待できる。アジア共通の単位互換制度の構築により、欧米諸国との単位互換も簡素化され、アジアと他地域の学生交流促進にも貢献することが見込まれ

る。ただし、新たな概念は科目間の内容の互換性を保証する手法が含まれていないため、今後、さらなる開発が必要である。現在、アセアン諸国等の他の学生交流事業においても、同様の単位互換の概念の導入が検討されている。

海外からの表敬訪問・海外及び国内の大学訪問及び会議への参加等

2019年

- 4月 *放送大学 広島学習センター「グローバル社会・大学・地域」 授業担当 (恒松)
- 5月 *広島大学附属高等学校スーパーサイエンス・ハイスクール運営指導委員会出席 (恒松)
- 7月 *国際シンポジウム「多文化環境におけるリーダーシップ育成と変革的協同」開催 (広島大学ダイバーシティ&インクルージョン科学の構築と実践のための研究拠点公開研究セミナー) (恒松)
*広島大学公開講座「グローバル社会・大学・地域を結ぶ～異文化との接触に備えて～」 (恒松)
- 8月 *「日彰館高校グローバル人材育成プログラム 120 吉舎おもてなしプラン国際交流行事」会議 (恒松)
- 10月 * “Emotional Intelligence and Diversity Train-the-Trainer Session”, UCLA Conference Center, Lake Arrowhead, CA, USA 参加 (恒松)
- 11月 * 「地域と協働で創る多文化共生社会」公開国際セミナー開催 (「グローバル・インターンシップ」) (広島大学森戸国際高等教育学院) (恒松)
* 広島県立日彰館高校グローバル人材育成プログラム 120 - 吉舎おもてなしプラン「広島大学短期交換留学プログラム留学生との国際交流会」企画・司会 (恒松)
- 12月 * 「公民館活動と国際交流」三原市本郷生涯学習センター(平成31年度尾三地区公民館連合会研修会)「異文化との接触に備えて：グローバル社会と地域」 (恒松)

2020年

- 2月 * 広島大学附属高校スーパーサイエンス・ハイスクール「科学英語表現」英語合宿における「異文化間コミュニケーションセミナー」講師 (恒松)
* 広島大学附属高等学校スーパーサイエンス・ハイスクール運営指導委員会 (恒松)
* 呉市倉橋町「倉橋フェスティバル」における「グローバル・インターンシップ」実習 (恒松)
- 3月 * 呉市議会・呉市教育委員会学校教育課 訪問 (ダイバーシティ研究センター) (恒松)

日本語・日本文化特別研修（中国）（台湾）（非漢字圏）
 日本語・日本文化特別研修（長春大学特別支援）
 日本語・日本文化特別研修＜受注提供型＞（韓国）
 日本語・日本文化特別研修＜受注提供型＞（エジプト）
 中国語・中国文化特別研修
 華語・台湾文化特別研修

荒見 泰史
 小宮山 道夫

1. 日本語・日本文化特別研修（中国）（台湾）（非漢字圏）

本プログラムは、母語に漢字を使用する国及び地域にあたる漢字圏と、それ以外の非漢字圏の大学で日本について学んでいる学生を2週間本学に受入れ、研修生が、日本語・日本文化の講義、実習・体験、学生交流によって、日本についての理解・関心を深め、帰国後さらに勉強を続けた後、本学へ再び留学し、日中及び日台間そして日本と諸外国との交流に貢献できる人材として成長することを支援することを目的として2010年度夏から実施してきたものである。

今年度は、夏期と冬期にそれぞれ、例年通り中華人民共和国、台湾、非漢字圏の3プログラムの計6プログラムを予定していたが、冬期については新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行を受けて辞退の受け付けを行うとともに、中国に関しては関係者で協議の結果不催行者と決定した。このため2019年度は通年で5つのプログラムとなった。

夏期（台湾）	7月1日～7月16日（16日間）	3名	
（中国）	7月21日～8月5日（16日間）	97名	
（非漢字圏）	8月19日～9月3日（16日間）	9名	
冬期（台湾）	2月16日～2月29日（14日間）	3名	（応募5名）
（中国）	2月2日～2月17日（不催行）	0名	（応募95名）
（非漢字圏）	3月1日～3月16日（16日間）	15名	（応募18名）

以下、例年の報告内容とは異なるが、冬期研修に関しては本研修ははじめ我々が関与する研修、そして森戸国際高等教育学院の危機対応の記録として、新型コロナウイルスに対する初動対応および研修中止決定までの経緯について示しておく。

(1) 第一報

1月20日19時に本研修の事務を統括する国際室国際部国際交流グループ（現グローバル化推進グループ）中本知範主査から「新型コロナウイルス関連肺炎発生に関する対応について」と題する第一報が入り、保健管理センター、教育室、総務グループ等による打ち合わせの内容が、本研修全体を統括する本田義央教授と担当の小宮山宛にもたらされた。この日15時から16時にかけて、国際交流に関わる主要関係者による今後の対応に関する打ち合わせが行われたのである。その場では保健管理センターのまとめによる「新型コロナウイルス関連肺炎（疑い）患者への対応について」が示されていた。国立感染症研究所が1月17日付で改訂公開していた文書「中国湖北省武漢市で報告されている新型コロナウイルス関連肺炎に対する対応と院内感染対策」および同日付「新型コロナウイルス（Novel Coronavirus:nCoV）に対する積極的疫学調査実施要領（暫定版）」を用いて作成された文書であった。「疑い例」については以下のとおり示されていた。

以下のⅠ－Ⅱ全てを満たす場合を「疑い例」とする。

- I. 発熱（37.5度以上）かつ呼吸器症状を有している。
- II. 発症から2週間以内に、以下の（ア）、（イ）、（ウ）の曝露歴のいずれかを満たす。
 - （ア） 新型コロナウイルスの患者（確定例）、またはその疑いがある患者と必要な感染予防策なしで2メートル以内での接触歴がある。
 - （イ） 武漢市への渡航歴がある。
 - （ウ） 「武漢市への渡航歴があり、発熱かつ呼吸器症状を有す人」との接触歴がある。

そしてこのような条件が満たされた場合、「保健管理センターに連絡して、広島大学附属病院まで公用車で連れていく」との申し合わせがなされたのである。これはこの時点で東広島市内に新型コロナウイルスを診療可能な医療機関がなかったための措置であった。また、具体的な対応としては、日日研修で「学生へのオリエンテーションの際に、体調の異変を感じた場合（発熱・発熱の疑い・鼻水・咳・呼吸がしづらい等）は、外出を控えて、保健管理センターへ連絡する」こと、「学生自身も体温計やマスクをあらかじめ準備しておくことが望ましいと」伝えて来日してもらうこと、「研修に備え、マスクや体温計、除菌クロスなどを保健管理センターからいただく」ことが方針として示された。加えて「中国から来られる方全員に、体調管理には十分注意していただき、少しでも疑いがあれば無理をして研修に参加しないよう、連絡をしておいてはと思います」との中本主査からの提案が含まれていた。本研修には武漢市にある大学から7名が参加予定となっていた。ちなみに武漢市から帰国した神奈川県内在住者が新型コロナウイルスに関

連した肺炎患者の国内 1 例目として報じられたのは 16 日のこと、世間を賑わしたダイヤモンド・プリンセス号での罹患者発生と検疫実施が知れ渡ったのはもう少し後の 2 月 4 日のことである。

(2) 情報共有

翌 21 日午前のうちに本研修担当事務の配慮によって武漢市にある大学からの研修生たちが使用するはずだった宿舍の部屋割を変更する対応が行われた。以後、研修生のキャンセルが入る度に宿舍の部屋割が随時行われることになった。本研修担当の事務と宿舍を担当する学生生活支援グループとが隣接していたこともあって、相互の積極的な働きかけと連携によりスムーズな調整が行われた。

同日 14 時には国際交流グループ川窪百合子グループリーダーより森戸国際高等教育学院の教職員全体に対する一斉メールが出され、前日の打合せ内容に関する正式な情報共有が行われた。その内容によれば、日日中国研修の参加者全員（武漢市出身者以外も含めて）に対して、出国前及び受入れ時に問診票（保健管理センターの日山先生が作成したもので中国語訳を作成予定）により健康状態を確認し、中国出国前に発症の疑いのある場合は、日山先生が個別相談を行うこと、本学受入れ後に発症の疑いのある場合は、保健管理センターに連絡し、同センターから医療機関に紹介いただくという対応が決定された。なお、この時点ですでに保健管理センターの WEB 上に「帰国・入国関連登録ページ」題する新型コロナウイルス感染に係る健康調査票についての情報が日本語と英語併記で作成されていた。

川窪グループリーダーからはこの連絡以後、文部科学省の動向をはじめ学内外の重要な関連情報の提供が随時行われた。

この日、総理大臣官邸において新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する関係閣僚会議が開催された。

(3) 武漢市ロックアウト

1 月 22 日には中国プログラムの参加者の一人から「中国武漢でインフルエンザが流行した。また、武漢で生活している人がこのインフルエンザの元になっていることが確認されたため、広島大学が武漢からの学生の体調をチェックしているかどうかを知りたい。」との照会メールが舞い込んだ。既に対策については打ち合わせ済みであり、この時点では細心の注意を払った上で催行するつもりでいたので、武漢を含め全渡航者に対して注意喚起と事前の問診票の送付を準備していることと、来日後の健康チェックや万が一の時の緊急体制の準備も万全を期していることを伝え、詳細については渡航日が近づいたら連絡をするので、続報を待つようにとの返信を翌 23 日付けで事務から出してもらうこととなった。

23日には午前10時から武漢市当局が公共交通機関の運行を一時停止すると発表した情報が報道され、事務方では武漢市の協定大学に対して現況に関する情報共有を願うメール文案の検討がなされ、昼過ぎには文案を確定、間もなく学長からメール発出の許可が下りていた。

本研修関連では午後2時には武漢市所在大学の参加者から、今回のウィルスは2002年のSARSに酷似していて、親と相談して既に17日に大学のある武漢市から実家に避難した。潜伏期間が14日間のため研修に参加するため渡日したとしても1日も日本で過ごすこと無く帰国しなければならないので参加をキャンセルしたいという趣旨のメールが届いた。外務省感染症危険情報では武漢市がレベル2（不要不急の渡航は止めてください）に引き上げられたこと、武漢留学中の学生や派遣予定の学生に関する情報共有も行われていた。小宮山個人のもとにも過年度の本研修参加経験者で武漢市に縁のある学生から武漢の地下鉄と空港の閑散とした様子の最新の写真や動画がSNSを通じて続々と届き始めた。筆者にとっても正に大きく事態の変動した日、認識を改める必要性に迫られた日になったと言えた。

23日深夜には広東省の大学の派遣担当教員から、事前送付していた広島大学での研修生の宿舍割当を見て、自校の学生が武漢市にある大学の学生と隣室となっていることを案じるメールが届いた。

(4) 研修生の希望聴取

このような動きをふまえた上で、本田教授は北京にいる張立新北京研究センター副センター長や森戸国際高等教育学院長である佐藤利行理事・副学長（国際・平和・基金担当）（現理事・副学長（平和・基金・アジア担当））と連絡をとりながら、24日11時時点で航空チケットがキャンセル料無しでキャンセルできるようになっていることから、参加者に対して参加者の健康を最優先とする見地から研修の参加をキャンセルしても差し支えないとの連絡を行うことを決意した。本研修の事務を担当する国際交流グループ（現グローバル化推進グループ）の唐晨グループ員は早速研修参加者宛の緊急メールの起案にとりかかり、学内の決裁手続きを経て18時に一斉メール「【至急】広島大学2019年度冬期日本語・日本文化特別研修のお知らせ」を問診票とともに発送した。メール文面は以下のとおりである。

広島大学日本語日本文化特別研修へご参加の
みなさま

(BCCで失礼します)

広島大学の唐です。

この度は本学の日本語・日本文化特別研修にご応募いただき、誠にありがとうございます

ざいます。

今、中国武漢で新型コロナウイルス感染症が発生しており、みなさまも今回の研修に際し大変心配されていることと思います。

日本の空港では、日本への入国者に対し、サーモグラフィー等を用いて、発熱等の症状がないか確認を実施していますので、症状がある場合はせっかく飛行機に乗っていただいても、研修が受けられなくなる可能性があります。

そのようなことにならないように、中国全地域から参加される皆様に注意喚起と健康状態に関する事前の問診票をお送りしますので、皆様回答のほうをよろしく願いいたします。

なお、今回武漢からの参加者は全員参加を取りやめるとの連絡が届きました。

また、来日後の健康チェックや万が一の時の緊急体制の準備も現在行っています。

しかし、やはり研修中の健康状態についてご心配があるかと思います。また、中国でも政府等から不要不急の外出や移動、また会合や集会等は避けることが勧められているようです。このような状況ですので、これから研修参加をキャンセルされましても差し支えありません。

大学の先生やご家族などとよく相談して、キャンセルされる場合は遠慮なくなるべく早めにこちらまでご連絡ください。

中国民航局のホームページに航空券をキャンセルする場合、キャンセル料金不要と掲載されておりますが、キャンセルを検討される場合、各航空会社あるいはチケット購入代理店にご確認ください。

他になにかご不明な点ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

みなさまのご健康を心からお祈りしております。

広島大学国際交流グループ

(原文の行間は削除した。以下同様。)

健康状態問診票

在中国湖北省武汉市发生了新型冠状病毒的新型肺炎。

日本检疫所呼吁，出入武汉市的民众如果有咳嗽、发烧等症状，或者正在服用止咳药、退烧药的话，请告知检疫官。

为了保证留学期间的健康，请回答以下问题。

你现在

问题 1：发烧（37.5 度以上）	是	否
问题 2：有咳嗽、痰等呼吸器有关症状	是	否
问题 3：正在服用止咳药或退烧药	是	否

問題 4：出現症状前の两周内在武汉市滞留过	是 否
問題 5：与新型冠状病毒患者(包含疑似患者)在兩米以内范围内， 不帶口罩的情况下谈过话	是 否

在武汉滞留过的人员，或者问题 5 回答「是」的人员。在到达广岛大学后，如有发烧、咳嗽或者痰等呼吸器有关症状的情况出现的话，请马上与所属担当人员和保健管理中心（电话: 0081-82-424-6192）联系。

この連絡に対し、翌 25 日以降、予定通り参加するつもりで問診票を提出する者、キャンセルの連絡をする者、それぞれ連絡が相次いだ。中国共産党機関紙・人民日報（電子版）が中国当局が海外への団体旅行を 27 日から停止することを決めたとの報道も舞い込み、中国の事情に詳しい荒見泰史森戸国際高等教育学院副院長からも現地の様子や今後の見通しに関する情報もたらされた。研修生については 27 日の時点で 22 名がキャンセルを申し出て、29 日朝には 60 名となり、参加人数は 35 名に減っていた。

この間、人数の減少にともない研修で実施予定だった見学先の人数変更や貸し切りバスの調整・変更のために国際交流グループ小野雅子グループ員も忙殺されていた。唯でさえ台湾研修と非漢字圏研修の準備が重なっており、関係者一同はより一層連絡を密にして確認を重ねることを徹底して事に当たった。本田教授は派遣元大学と連絡を取り合い現地の状況や研修生の参加不参加について照会を行い情報共有を続けた。派遣元大学の担当者や研修生との間で連絡が不十分な場合も見越されたため、研修生本人にも確認をとる必要があった。28 日の夕刻には小野グループ員の起案で研修生たちの参加不参加の予定および参加予定者については交通手段が確保できているかどうかの照会文書を作成し、送付した。

広島大学日本語・日本文化特別研修にご参加のみなさま

（このメールは BCC でお送りしております）

広島大学国際交流グループです。広島大学日本語・日本文化特別研修へ申込みをいただき、ありがとうございます。

このたびの新型コロナウイルス感染症の影響で、中国国内での移動、国際線など飛行機の運航状況に大きな影響が出ています。渡日予定の皆様は、空港までの交通手段、飛行機の運航状況を確認されていますでしょうか？

現時点で渡日が可能かどうかを調べていただき、広島大学までメールでお知らせください。

日々状況が変わりますので、また変更もあるかと思えます。参加取りやめの場合も遠慮なく、早めにご連絡ください。

お返事をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

広島大学国際交流グループ

(5) 中止決定

新型コロナウイルス関連肺炎の伝播状況が全くわからない状況が続いていたが、研修開始の2月2日も差し迫ってきており、平日である翌30日、遅くとも31日には研修の実施について大学として最終的な通知を行わなければならない状況にあった。このため、29日14時時点で正式通知を明日9時に行うという取り急ぎの予告メールを以下のとおり送信した。

広島大学日本語日本文化特別研修へご参加の

みなさま (BCC で失礼します)

CC 本研修参加大学の先生方

この度は本学の日本語・日本文化特別研修にご応募いただき、誠にありがとうございます。

もともと35大学89名での実施を予定していた本研修ですが、新型コロナウイルスの影響により、本日17時時点で21大学68名からのキャンセルが入っています。

本学では研修生到着後の体調管理等、万全の態勢を整えているところですが、昨日の時点で日本国内での感染者(人対人感染)の例が確認され、来日後の日本国内での感染の可能性も否定できなくなりました。

本学では参加を予定している皆さんの健康と安全が第一と考えていますので、現在、研修の中止も視野に入れて関係諸機関と協議を重ねています。

明日の日本時間午前9時までには当面の方向性についての判断を行いたいと考えています。

については現時点で少しでも不安を感じる方は遠慮なくキャンセルを申し出て、航空チケットの取り消し等の処理を急いで下さい。

よろしくお願いいたします。

広島大学 国際交流グループ

このメールを起案・決裁している間にも、状況を判断していた本田教授は研修の中止を覚悟し、佐藤学院長に相談の上、中止の裁可を得るに至った。14時46分、本田教授は研修担当の教職員に対し中止の正式決定を伝え、派遣元大学および研修生に対する中止連絡と宿舎や研修先をはじめとする外部機関、授業担当講師に対するキャンセルとお詫びの連絡をとるよう指示を行った。

30日9時、国際交流グループから派遣元大学および研修生に対して次のメールを发出

した。

広島大学日本語・日本文化特別研修へご応募の

みなさま (BCC で失礼します)

CC 本研修応募大学の先生方

この度は本学の日本語・日本文化特別研修にご応募いただき、誠にありがとうございます。
ございます。

新型コロナウイルス肺炎の流行に伴い、本学ではマスクや消毒薬等の医療用品の
備蓄、医療機関との連携体制強化を行った上で、研修参加希望者全員に問診票の提
出を依頼するなどの措置を講じ、研修生到着後の体調管理に努めるとともに万が一
感染者が入国して発症した場合に備えて万全の態勢を整えておりました。

しかしながら1月28日の時点で日本国内での感染者(人対人感染)の例が確認さ
れ、来日後の日本国内での感染の可能性も否定できなくなりました。日本政府も同
日付で新型コロナウイルス感染症を感染症法(「感染症の予防及び感染症の患者に
対する医療に関する法律」)に基づく「指定感染症」と指定するに至っております。

昨日の時点で応募者の3/4以上が参加を辞退なさっており、残る研修希望者の皆
様にお越し頂いても日本での安全を保証できないことを考慮した上で、昨日関係
者間で協議を重ねた結果、2/2~2/17で実施予定だった本研修を中止することを決
定しました。

つきましては、来日に向けて準備を進めて下さっている皆様には大変恐縮ですが、
既に予約されている航空便その他の移動手段のキャンセルを速やかに行って頂くよ
うお願い致します。

なお、7月19日(日)~8月3日(月)の日程で2020年度夏期日本語・日本文化特
別研修を計画しております。後日募集要項を大学宛にお届けしますので、是非とも
夏期の研修にご参加下さいますよう、お願いいたします。

本メールの受取り確認のため、お手数でも、所属大学名とお名前を記して、返信
をお願い致します。

広島大学国際交流グループ 唐

以上により、日本語・日本文化特別研修(中国)は中止となった。

なお、台湾、非漢字圏については健康管理センターと連携の上、使用教室へのアルコ
ール消毒液の配置と手洗いマスク指導を徹底した上で予定通り無事に実施するこ
とが出来た。

本研修はここに記載しきれない多くの教職員の協力の下、緊急対応の体制構築をと
もないうちに研修参加者の安全第一を考慮して中止もしくは実施を判断することができ

た。この場を借りて感謝申し上げたい。本原稿執筆の段階では未だに新型コロナウイルス関連肺炎の収束は見え、これまで通りの渡航をとまなう対面での研修を実施できる見込みはないが、次年度も情報収集と楽観を許さぬ綿密な危機管理の上で、研修の実施に向けて取り組むつもりである。これまで多くの研修生を送り出してくれた派遣元大学および協定校、さらには未来の協定校に係る皆様には、これまで以上に本研修への積極的な参加をご検討いただけることを切に願っている。

2. 日本語・日本文化特別研修（長春大学特別支援）

本プログラムは、日中の相互理解を促進する人材育成の一環として、身体等の障がいにより特別の支援を必要とする学生を受け入れるもので、特別支援教育に関するプログラムとして2017年10月より提供を開始したものである。大学院教育学研究科特別支援教育学講座・附属特別支援教育実践センターと共同し、身体等に障がいのある学生の修学支援を行っているアクセシビリティセンターの協力を得て実施し、春には聴覚障がい者8名と引率教員2名を受け入れることができた。昨年は秋期にも受入を行っていたが、今年は担当者の人事異動にとまなう派遣・受入双方の態勢が整わず実施を見送った。

長春大学特別支援（春期）5月12日～19日（8日間）8名＋引率教員2名

3. 日本語・日本文化特別研修＜受注提供型＞（韓国）

本プログラムは、従来の日本語・日本文化特別研修をベースに個別教育機関の要求に応じて日程や内容をカスタマイズして提供する特別研修である。日本語・日本文化特別研修と同様に講義、実習・体験、学生交流によって、日本についての理解・関心を深め、帰国後さらに勉強を続けた後、本学へ再び留学し、国際交流に貢献できる人材として成長することを支援することを目的として、2017年度から開始したものである。

今年度は、サイバー韓国外国語大学から申し入れがあり、来日・出国をあわせて10日間の日程で研修内容を組んで実施した。サイバー韓国外国語大学は通信制の大学であるため一大学とはいえ団体として来日・出国することにはならず、日本国内から参加する学生などもいたため、研修生に共通して日本語教育を提供している教員1名に引率として研修に参加して頂いた。

サイバー韓国外国語大学 6月28日～7月7日（10日間）18名＋引率教員1名

4. 日本語・日本文化特別研修<受注提供型> (エジプト)

本プログラムは、エジプト大使館の企画する本学への政府派遣のショートステイプログラム参加者のうち、日本語専攻者および各部局での専門教育に授業日程の空きのある者に対し、日本語・日本文化特別研修と同様に講義、実習・体験、学生交流によって、日本についての理解・関心を深め、帰国後さらに勉強を続けた後、本学へ再び留学し、国際交流に貢献できる人材として成長することを支援することを目的とした研修である。

用意した授業・学生交流・見学は以下のとおり（敬称略）。

【日本語】佐藤道雄「初級日本語（8月28・30日、9月9・12日）」、迫田久美子「日本の文字に親しむ～年賀状を書こう～（8月30日）」、石原淳也「日本語音声学・音韻論（8月30日）」、柳本大地「自己紹介をしよう（9月9日）」、柳本大地「自己紹介をしよう（9月9日）」、柳本大地「広島ニュースを作ろう（9月11日）」、柳本大地「シャドーイング（9月11日）」

【日本文化】佐藤大規「総合博物館ツアー（8月27日）」、友次晋介「日本の非核政策の展開（8月28日）」、ハーレー静代「折り紙文化（8月29日）」、小宮山道夫「日本の教育文化（8月31日）」、小宮山道夫「日本人の名前と歴史（8月31日）」、百々隆雄「日本のアニメ（9月1日）」、高原良彦「日本の建築（9月2日）」、今川真治「日本の子育て文化と日本人の子育ての特徴（9月2日）」、小宮山道夫「けん玉文化（9月4日）」、小宮山道夫「広島大学の歴史と平和（9月4日）」、小宮山道夫「東広島市の歴史と文化（9月4日）」、菅崎奈々子「生け花体験（9月5日）」

【学生交流】キャンパス案内（8月27日）、宮島事前学習（8月28日）、日本の遊び（百人一首）（8月28日）、初級日本語（8月28・30、9月9・11日）、日本語の成句（8月31日）、日本語の歌（8月31日）、成果発表（中間）準備（9月1日）

【見学】マイクロン社見学（8月29日）、宮島歴史文化研修（8月31日）、広島市歴史文化平和研修（9月2日）、東広島市歴史文化研修（9月4日）、瀬戸内海国立公園（因島・しまなみ海道）歴史文化研修（9月6日）、放射光科学研究センター「施設見学（9月10日）」、両生類センター「施設見学（9月10日）」

日本語専攻の学生2名以外はほぼ日本語教育の経験が無いためプログラム提供や日常生活に難しいところもあったが、協力講師および事務職員の献身的な支援により催行することができた。この場を借りて御礼申し上げる。

エジプト政府派遣 8月26日～9月13日（19日間）30名

5. 中国語・中国文化特別研修

本プログラムは、1. 日本語・日本文化特別研修（台湾）との双方向性をもつ派遣研修として長く実施されてきた。また2017年度からは5. 華語・台湾文化特別研修とともに、学生支援機構の海外留学支援制度の援助を受けた「広島大学東アジア展開力強化プログラム」事業の一環とも位置付けられている。「東アジア展開力強化プログラム」の趣旨は、①広島大学の通常学期期間中に実施される外国語トライリンガル特定プログラム、中国文化論などの授業とあわせて現地で学ぶことにより、今日のアジア社会の背景にある歴史、文化、言語、思想、信仰などをより身近に理解する、②研修期間中の学生交流を通じて若者間の人的ネットワークを構築する、③通常学期期間中の特定プログラムなどの授業と組み合わせることにより、継続的に指導を続け、将来的に中国、台湾などへの留学へと導くことが可能である、というものである。

2019年度は9月2日から9月22日の日程で15名の研修生を北京の首都師範大学に派遣した。そのプログラムの中心となるのは語学学習のための中国語の授業だが、「東アジア展開力強化プログラム」の一環として、そのほか企業訪問としてCRI（中国国際放送局）を訪問し、文化体験として書道、中国画、工作を学んだほか、八達嶺長城と明十三陵見学、宣南文化博物館（長椿寺）見学、梨園劇場での京劇鑑賞などの活動があった。また現地学生との交流会がほぼ毎日設定されており、期間中に合計で60時間の学習を行った。終了後には、学生には修了証と成績書が与えられ、この成績にもとづき広島大学の「海外語学演習」2単位に振り替えられている。

6. 華語・台湾文化特別研修

本プログラムは、1. 日本語・日本文化特別研修（台湾）との双方向性をもつ派遣研修として2014年度から実施されてきた。また、4. 中国語・中国文化特別研修と同様に、2017年度からは学生支援機構の海外留学支援制度の援助を受けた「広島大学東アジア展開力強化プログラム」事業の一環とも位置付けられている。例年、教員引率のもとに実地研修（天燈体験、寺院参拝、故宫博物院見学など）や、現地学生との交流会がほぼ毎日設定され、終了後には、学生には修了証と成績書が与えられる。この成績にもとづき広島大学の「海外語学演習」の単位を期間中の合計学習時間30時間あたり1単位に振り替えることができるようになっている。

2019年度は2020年3月に実施の予定だったが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で中止となった。

研究・その他の活動（2019年4月～2020年3月）

1. 研究論文・著書・研究ノート

恒松直美「多国籍留学生が体験学習から捉えた日本社会との接触における課題」、『留学生教育』(JAISE), 24号, 2019, pp. 11-21

深見兼孝「日本語のニ/ニタイシテと韓国語の-ey/ey tayhayse」『総合学術学会誌』第19号, 2020年3月, pp.3-8（査読付き）

深見兼孝「シャドーイングに対する初級日本語学習者の自己評価：ポートフォリオの記述から」『広島大学森戸国際高等教育学院紀要』第2号, 2020年3月, pp.25-29

2. 学会発表

Tsunematsu, Naomi, "Reflections on Study Abroad Experiences in Japan: Cultural Factors and Differences among International Students", 日本比較教育学会第55回大会, 東京外国語大学, 2019年6月9日

Tsunematsu, Naomi, "Independence and Interdependence of Culturally Diverse Students: Autonomy and Empowerment through Experiential Learning to Cooperate with Local Society in Japan", the 11th Asian Conference on Education (ACE 2019), International Academic Forum (IAFOR), Tokyo, November 3, 2019

深見兼孝「オキル・オコルと場所格助詞デ・ニ：韓国語対訳との対比」2019年度韓国日本語学会秋季大会, 聖潔大学校（韓国）, 2019年9月15日.

深見兼孝「シャドーイングにおける初級日本語学習者の気づき：ポートフォリオの記述から」(科学研究費助成事業基盤研究C（一般）18K00688), 2019年度日本総合学術学会秋季大会, 東京工業大学 CIC キャンパスイノベーションセンター, 2019年12月7日.

3. 学術研究補助金

恒松直美 科学研究費補助金(C)「日本留学での適応と帰国後の再適応が多国籍留学生に与える影響のホリスティックな研究」(2017-2020)

4. その他の活動

A. 地域貢献、社会貢献

- 恒松直美 広島大学附属高等学校スーパーサイエンス・ハイスクール研究協力委員
- 恒松直美 教育開発国際協力研究センター(CICE)学内客員研究員
- 恒松直美 HUSA プログラム「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト：大学と地域の協同」
- 恒松直美 広島大学 ダイバーシティ研究センター協力教員
- 恒松直美 広島大学「ダイバーシティ&インクルージョン科学の構築と実践のための研究拠点」メンバー
- 恒松直美 呉市倉橋フェスティバルにおける HUSA「グローバル・インターンシップ」実習, 2020年2月16日
- 恒松直美 広島県立日彰館高等学校 異文化理解教育推進プロジェクト指導委員

B. 学会活動

- 恒松直美 日本総合学会 監事
- 深見兼孝 西日本言語学会 運営委員
- 深見兼孝 日本総合学会 理事
- 深見兼孝 韓国学研究会 会長

C. 講演・ワークショップ等

- 恒松直美 放送大学「グローバル社会・大学・地域」広島学習センター, 2019年4月16日・4月26日
- 恒松直美 “Meaning of Experiential Learning and Cooperative Learning”, 広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)「グローバル・リーダーシップ実践研究プロジェクト：大学と地域の協働」第1回中間発表会, 2019年4月24日
- 恒松直美 「グローバル社会・大学・地域を結ぶ~異文化との接触に備えて~(Global Society・University・Local Society)」, 広島大学公開講座, 2019年7月3日, 7月10日
- 恒松直美 “Preparing to Return Home: Reverse Culture Shock,” 広島大学短期交換留学プ

プログラム(HUSA) 「グローバル・リーダーシップ実践研究プロジェクト: 大学と地域の協働」 最終発表会, 2019年7月10日

恒松直美, 国際シンポジウム “Inclusive Leadership Development and Transformative Collaboration in Culturally Diverse Environment” 「多文化環境におけるリーダーシップ育成と変革的協同」開催, 広島大学ダイバーシティ&インクルージョン科学の構築と実践のための研究拠点, 広島大学学生プラザ, 2019年7月16日・7月17日

恒松直美 「日本文化理解グループ・ワーク」 広島大学短期交換留学プログラム(HUSA) オリエンテーション, 2019年9月27日

恒松直美 「日彰館高校と広島大学短期交換留学プログラム留学生との国際交流会」, 広島県立日彰館高等学校「グローバル人材育成プログラム120 - 吉舎おもてなしプラン」, 2019年11月9日

恒松直美 「グローバル・インターンシップ」地域公開国際セミナー開催, 2019年11月22日

恒松直美 “What is Culture Shock?”, 広島大学短期交換留学プログラム(HUSA) 「グローバル・リーダーシップ実践研究プロジェクト: 大学と地域の協働」第1回企画発表会, 2019年12月10日

恒松直美 「公民館活動と国際交流 - 異文化との接触に備えて: グローバル社会と地域」(平成31年度尾三地区公民館連合会研修会), 三原市本郷生涯学習センター, 2019年12月16日

恒松直美 広島大学附属高校スーパーサイエンス・ハイスクール「科学表現」英語合宿「異文化間コミュニケーションセミナー」, 広島大学学生プラザ, 2020年2月1日